薬効分類別、年齢階級別、都道府県別にみた調剤医療費の動向

保険局調査課

（平成30年7月）

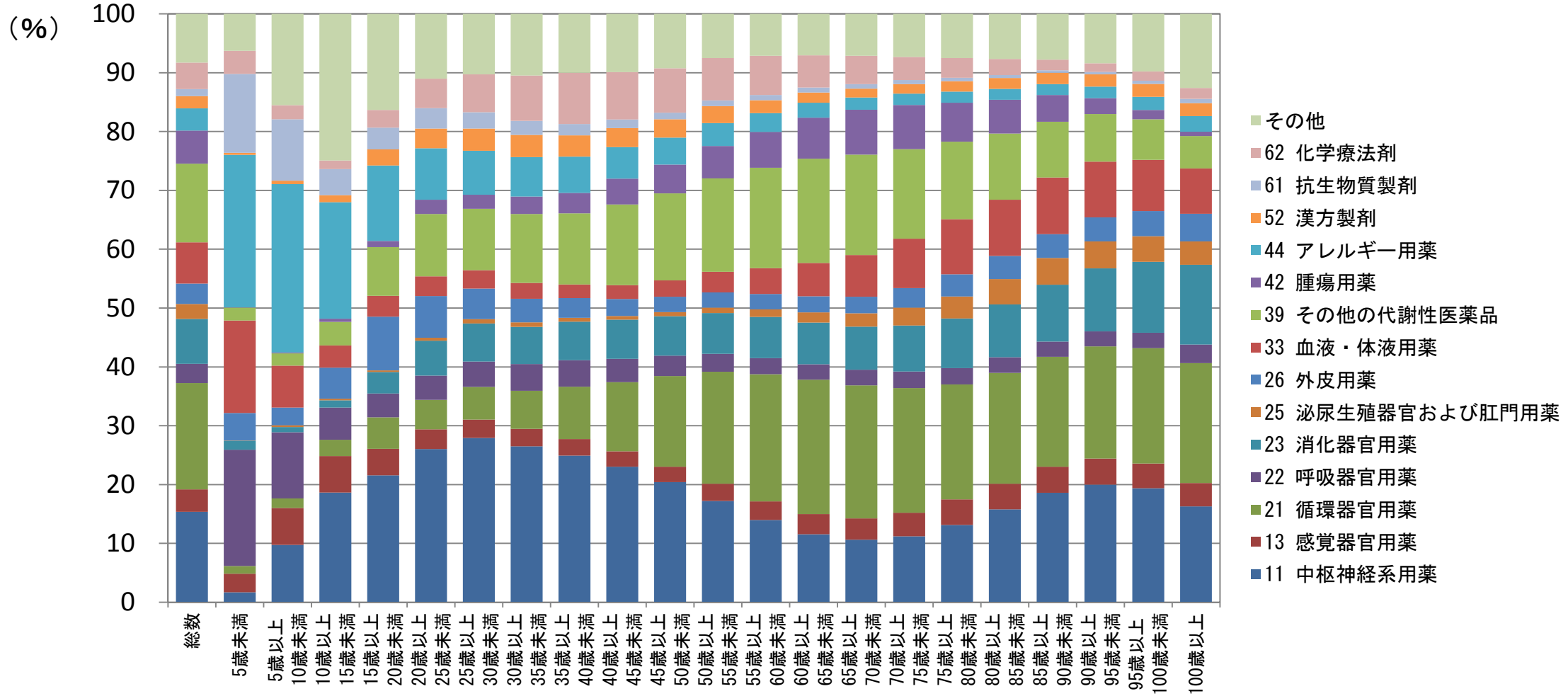
2016年９月調剤分（10月審査分）、2017年9月調剤分（10月審査分）の調剤レセプトを分析し、薬効分類別、都道府県別、年齢階級別に薬剤料、後発医薬品割合等について集計したものである。

本分析に関する詳細データについては、下記URLにて公表する。

（http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/database/zenpan/xls/cyouzai_doukou_topics_h30_07.xls）

薬効分類別、年齢階級別にみた薬剤料の構成割合（2017年9月）

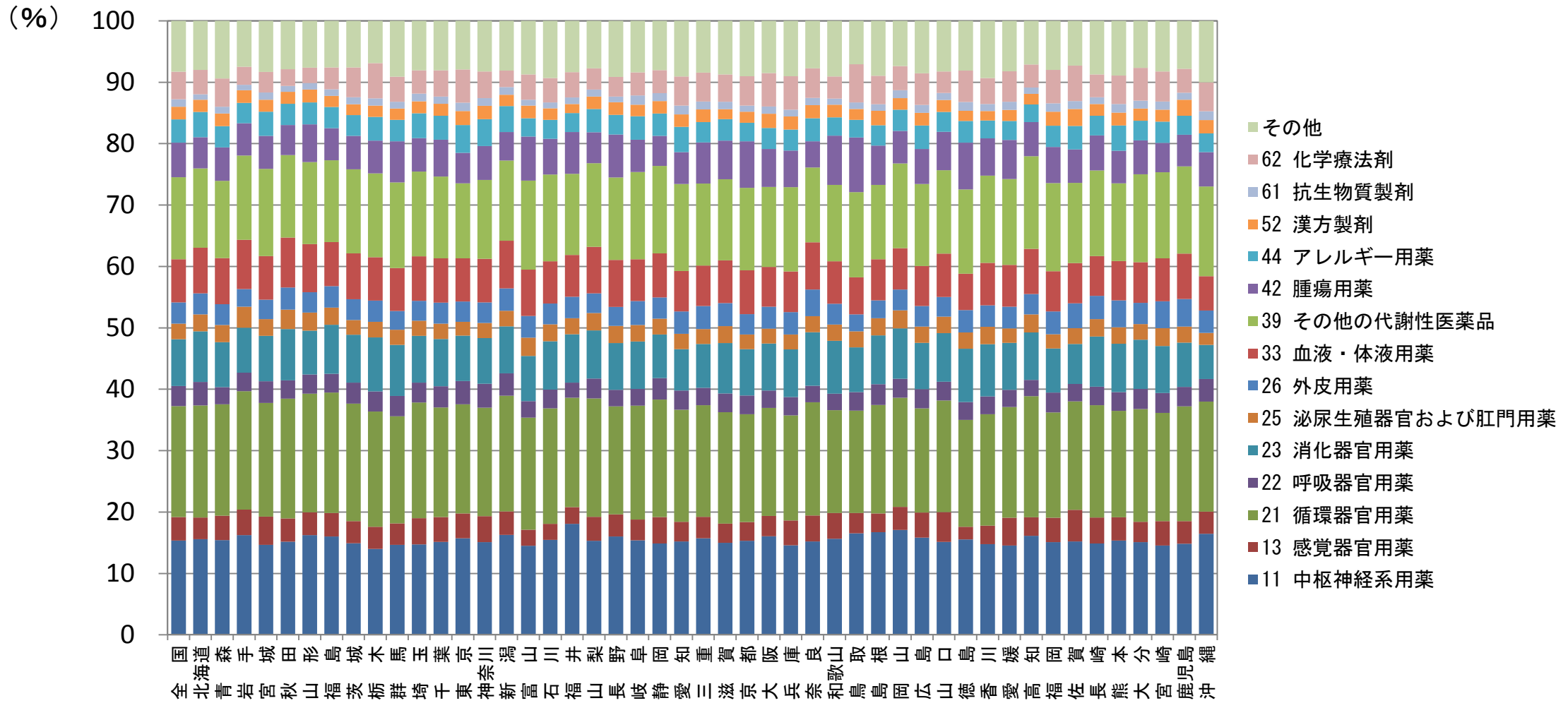
○　薬効分類別、年齢階級別に薬剤料の構成割合をみると、
- 15歳未満の年齢階級では、アレルギー用薬の割合が高い。
- 循環器官用薬、消化器官用薬等は、年齢階級が高くなるにつれて割合が高くなる。
- 15～50歳の年齢階級では中枢神経系用薬の割合が最も高い。



注1)　年齢を5歳ごとに区切り、集計したものである。
注2）「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

薬効分類別、都道府県別にみた薬剤料の構成割合（2017年9月）

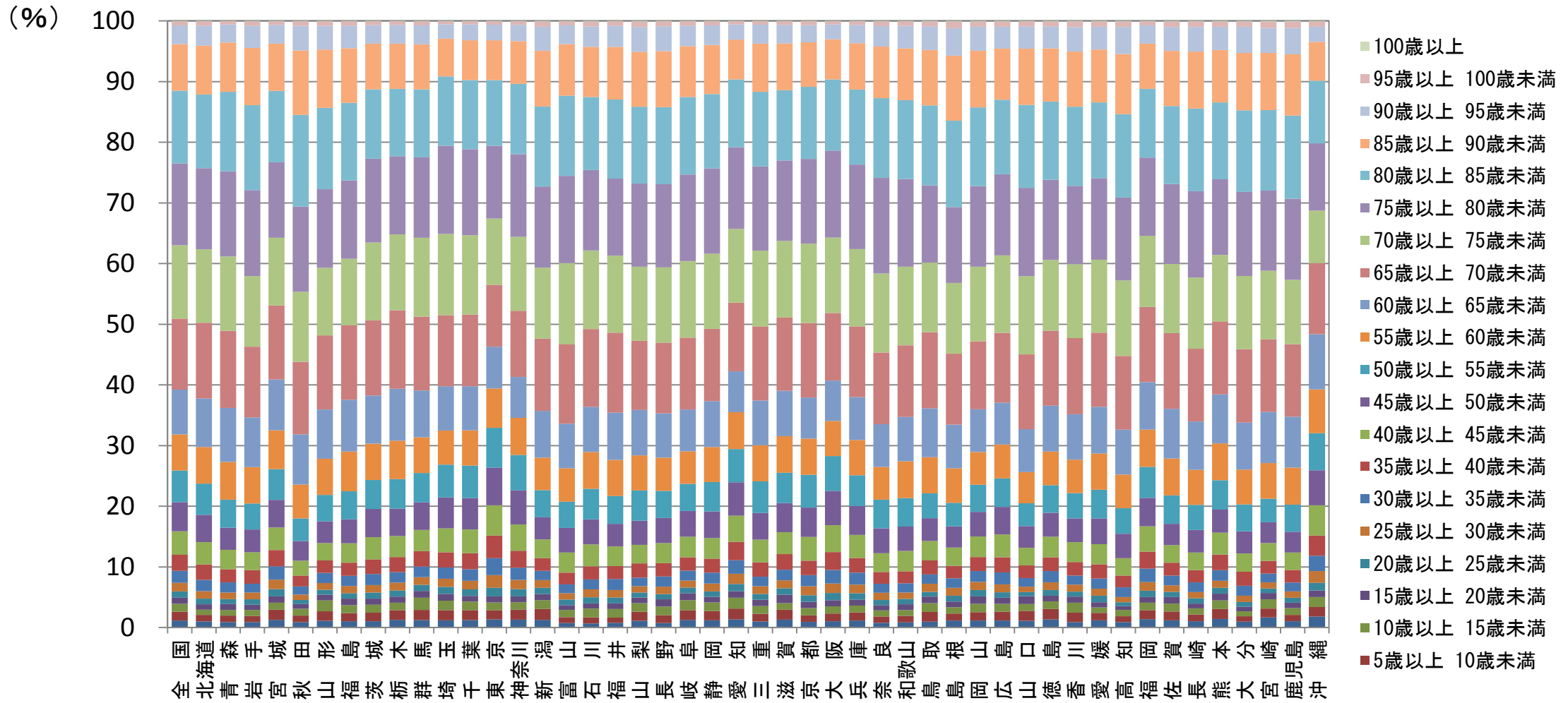
○　薬効分類別、都道府県別に薬剤料の構成割合をみると、
- ・中枢神経系用薬の構成割合は、福井県、鳥取県、岡山県等で高い。
- ・循環器官用薬の構成割合は、東北地方、山梨県、静岡県、高知県等で高い。
- ・その他の代謝性医薬品の構成割合は、栃木県、奈良県、和歌山県、徳島等で高い。



注1)　保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。
注2）「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

年齢階級別、都道府県別にみた薬剤料の構成割合（2017年9月）

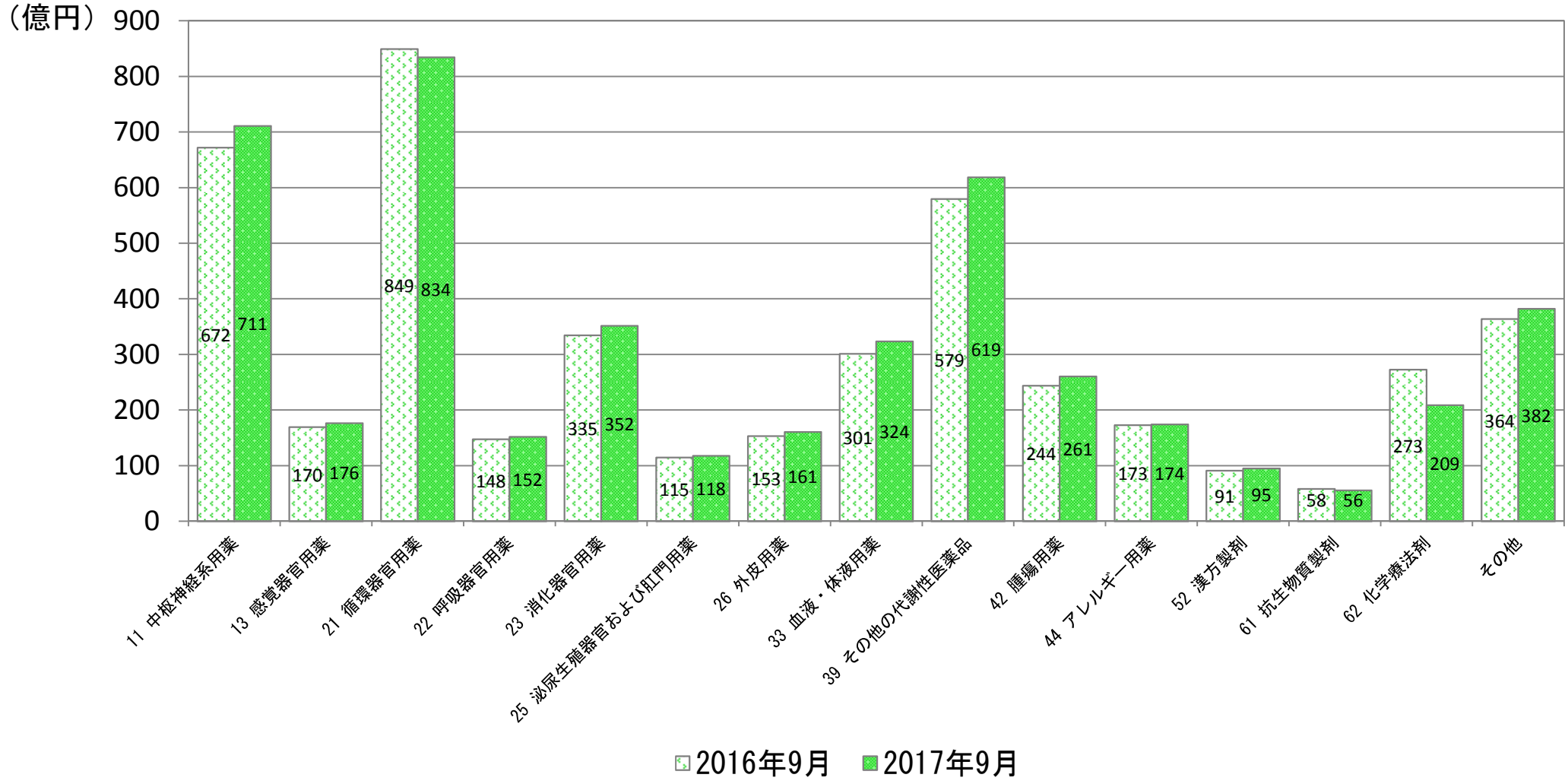
○　年齢階級別、都道府県別に薬剤料の構成割合をみると、
- 秋田県、島根県、高知県、鹿児島県等では高い年齢階級で構成割合が高い。
- 宮城県、東京都、愛知県、福岡県、沖縄県等では低い年齢階級で構成割合が高い。
- 多くの都道府県で、70歳以上で薬剤料の半分を占めている。



注1)　年齢を5歳ごとに区切り、集計したものである。
注2)　保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。
注3)　「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

薬効分類別にみた薬剤料の推移（2017年9月、2016年9月）

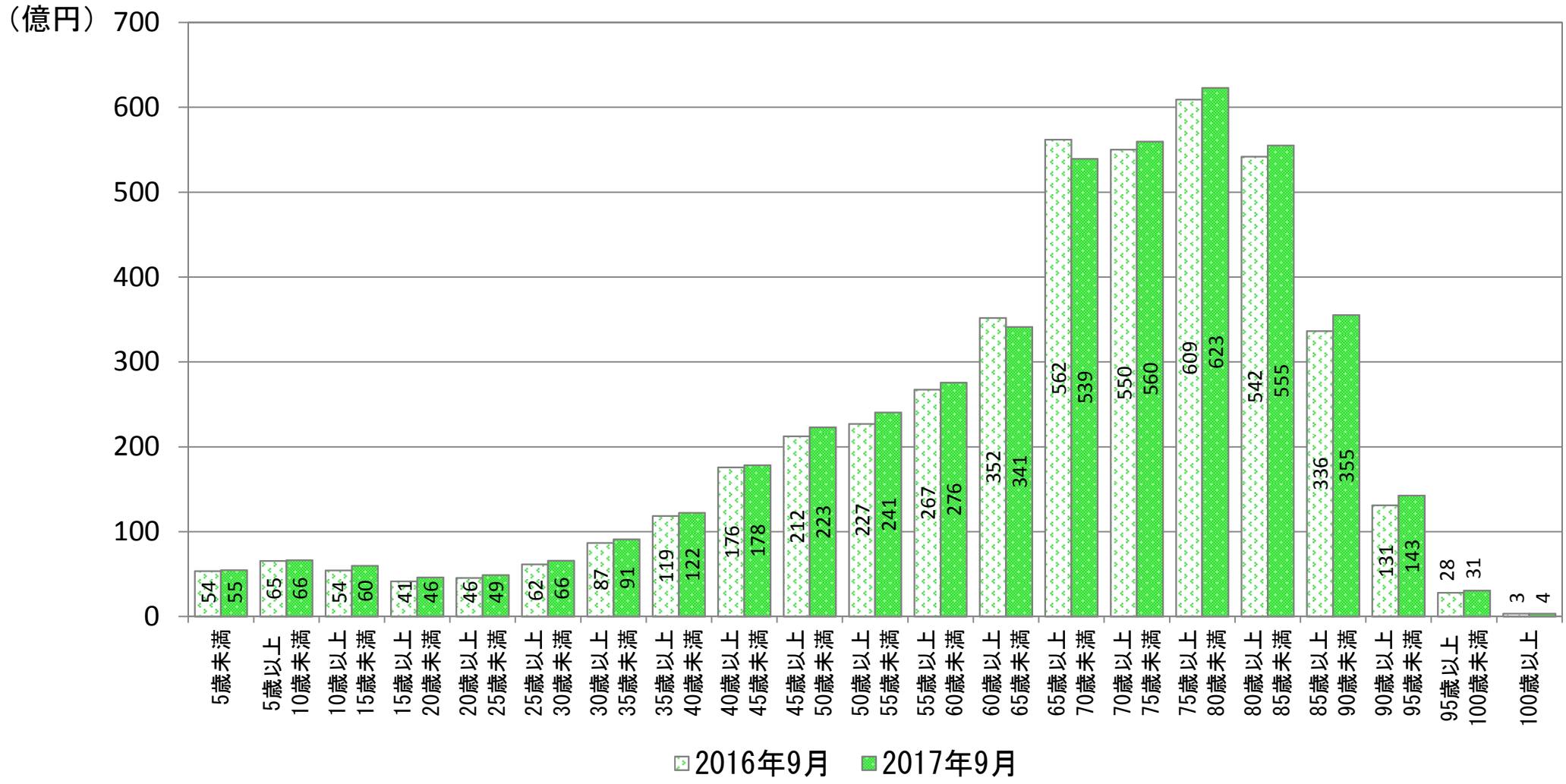
○　薬効分類別に薬剤料の推移をみると、おおむねどの薬効分類でも前年に比べて上昇しているが、最近新たな後発医薬品の販売が開始された循環器官用薬や、C型肝炎治療薬を含む化学療法剤等は減少している。



注1）　薬効分類別に集計したものである。
注2）「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

年齢階級別にみた薬剤料の推移（2017年9月、2016年9月）

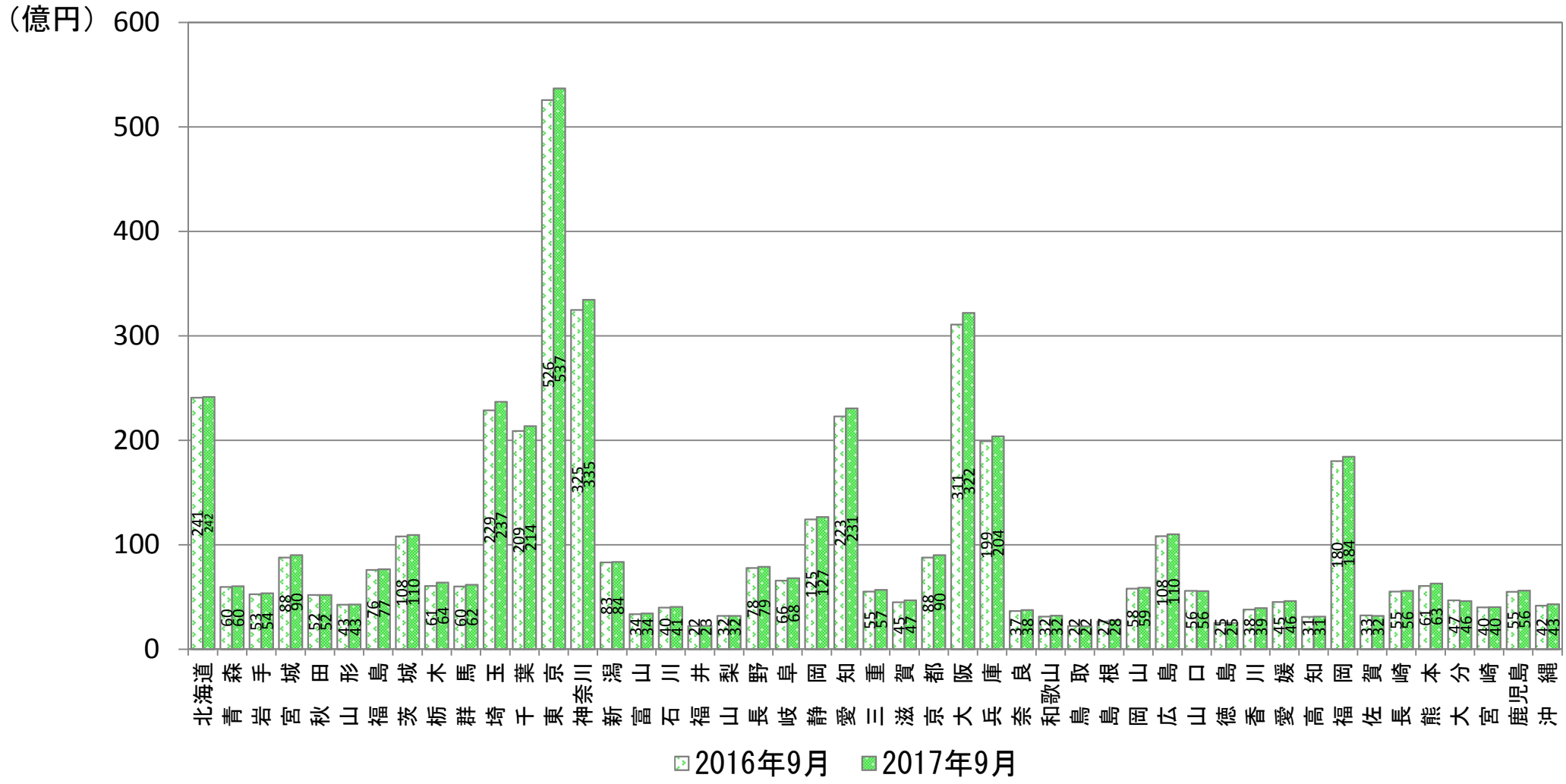
○　年齢階級別に薬剤料の推移をみると、おおむねどの年齢階級でも前年に比べて上昇しているが、60歳以上65歳未満、65歳以上70歳未満は減少している。



注1)　年齢を5歳ごとに区切り、集計したものである。
注2）「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

都道府県別にみた薬剤料の推移（2017年9月）

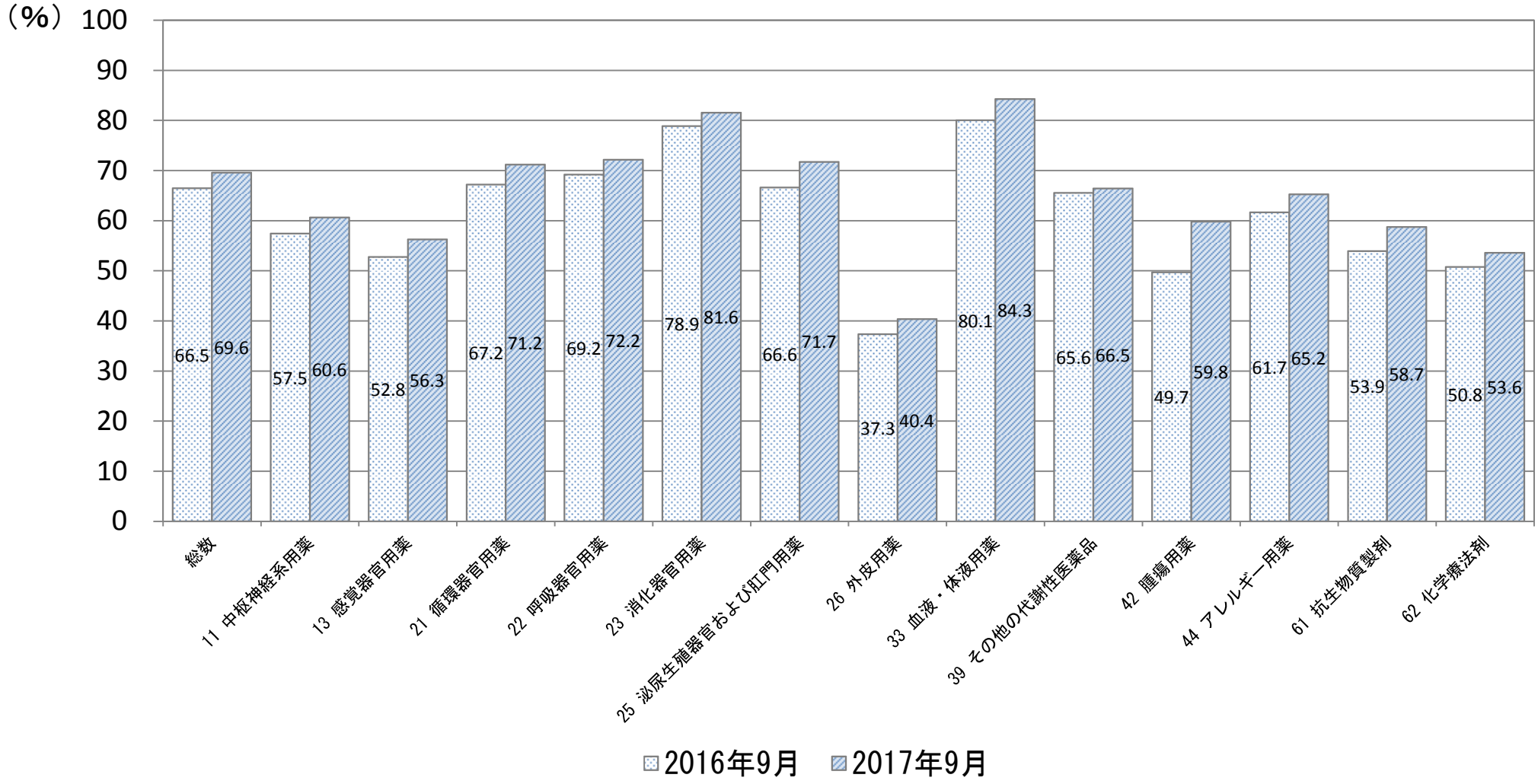
○　都道府県別に薬剤料の推移をみると、おおむねどの都道府県でも前年に比べて上昇しているが、秋田県や山口県等、一部減少している都道府県も存在する。



注1)　保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。
注2）「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

薬効分類別にみた後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）

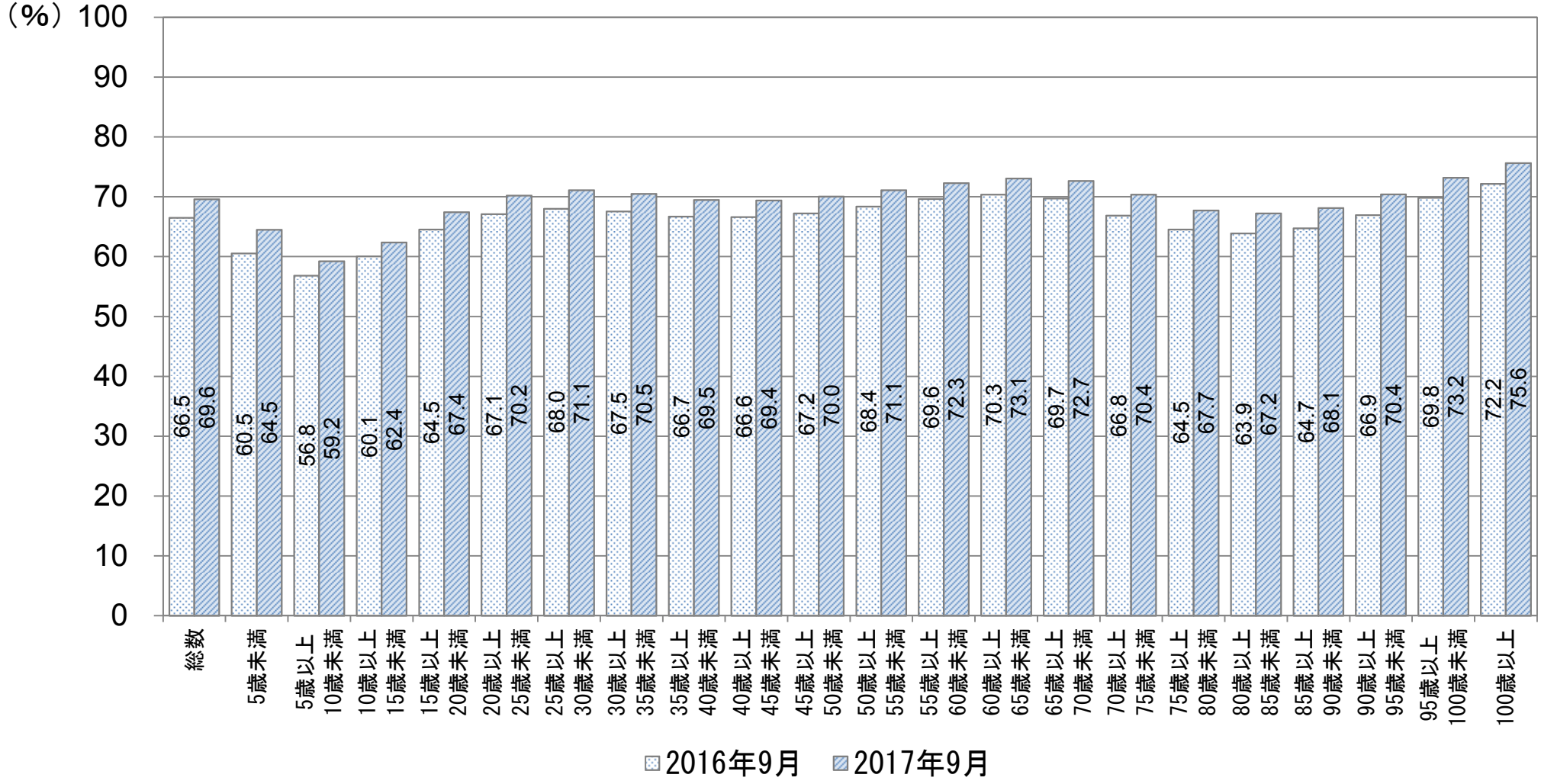
○ 薬効分類別に後発医薬品割合（数量ベース、新指標）をみると、外皮用薬が特に低い。循環器官用薬、泌尿生殖器官および肛門用薬、血液・体液用薬、抗生物質製剤等は前年からの伸びが大きい。



注1） 薬効分類別に集計したものである。
注2） 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注3） 「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

年齢階級別にみた後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）

○ 年齢階級別に後発医薬品割合（数量ベース、新指標）をみると、20歳未満、75歳以上90歳未満は他の年齢階級より低い。いずれの年齢階級においても、前年から上昇している。



注1) 年齢を5歳ごとに区切り、集計したものである。
注2) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注3) 「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

薬効分類別、年齢階級別にみた後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）

○ 薬効分類別、年齢階級別に後発医薬品割合（数量ベース）をみると、
- 中枢神経系用薬は、15歳以上20歳未満を除いて35歳未満で高く、70歳以上、85歳未満で低い。
- 循環器官用薬は、30歳以上75歳未満で高く、20歳未満、75歳以上で低い。
- 消化器官用薬は、20歳未満、85歳以上で高く、15歳以上55歳未満で低い。
- 外皮用薬は、全体的に低いが、10歳未満、75歳以上で特に低い。

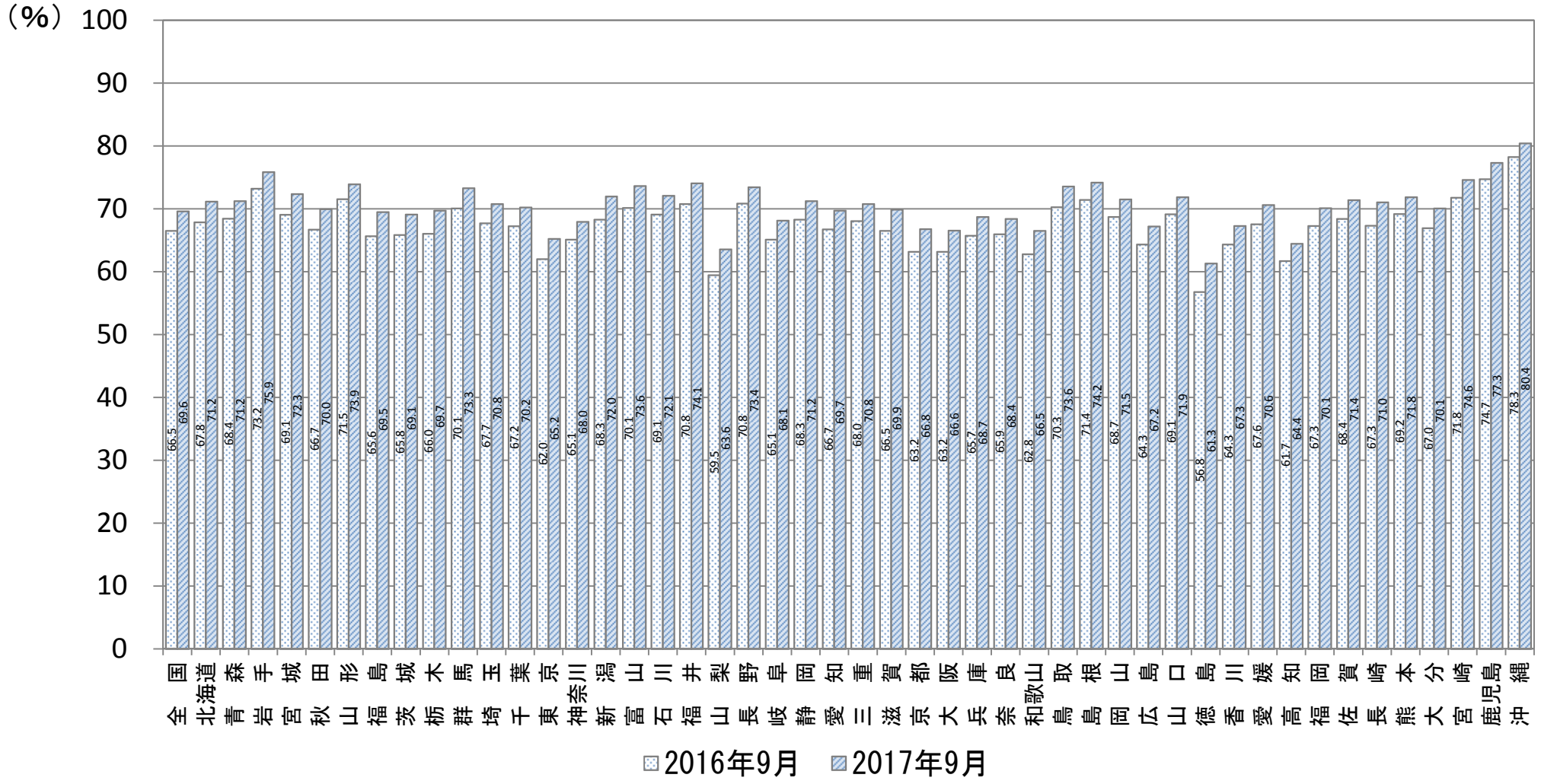
薬効分類別 年齢階級別 後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）（%）

	総数	5歳未満	5歳以上10歳未満	10歳以上15歳未満	15歳以上20歳未満	20歳以上25歳未満	25歳以上30歳未満	30歳以上35歳未満	35歳以上40歳未満	40歳以上45歳未満	45歳以上50歳未満	50歳以上55歳未満	55歳以上60歳未満	60歳以上65歳未満	65歳以上70歳未満	70歳以上75歳未満	75歳以上80歳未満	80歳以上85歳未満	85歳以上90歳未満	90歳以上95歳未満	95歳以上100歳未満	100歳以上
総数	69.6	64.5	59.2	62.4	67.4	70.2	71.1	70.5	69.5	69.4	70.0	71.1	72.3	73.1	72.7	70.4	67.7	67.2	68.1	70.4	73.2	75.6
11 中枢神経系用薬	60.6	81.3	70.4	63.7	59.3	62.7	64.2	63.0	61.7	61.1	60.9	61.1	61.9	62.2	60.7	58.5	56.8	57.7	60.3	64.2	67.9	70.8
13 感覚器官用薬	56.3	50.7	56.1	58.9	64.2	66.1	66.2	63.2	60.9	60.0	58.3	56.8	57.0	57.7	57.7	56.8	55.0	54.5	54.1	55.0	55.2	55.1
21 循環器官用薬	71.2	61.6	46.4	38.5	48.3	65.5	69.9	72.2	73.9	75.1	75.8	76.1	76.4	76.3	75.3	72.0	67.6	66.2	66.4	68.2	70.7	72.6
22 呼吸器官用薬	72.2	65.2	64.3	68.5	77.6	82.7	83.6	82.9	81.6	79.8	77.9	77.5	77.7	77.9	76.9	74.5	72.1	70.4	69.9	70.2	70.9	71.9
23 消化器官用薬	81.6	88.4	86.6	79.2	74.3	74.2	75.4	76.3	75.8	76.0	77.3	78.9	80.7	82.3	82.9	82.3	81.6	82.1	83.5	85.5	87.5	89.0
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	71.7	59.7	35.2	41.0	70.5	77.9	78.8	77.6	77.6	78.0	77.0	77.9	77.8	79.0	77.8	74.5	70.1	67.2	66.0	65.6	66.2	65.6
26 外皮用薬	40.4	30.3	34.1	43.3	41.7	40.8	41.2	42.1	42.7	44.1	45.2	46.0	45.9	45.3	43.4	41.0	38.5	37.4	36.8	36.6	36.4	37.1
33 血液・体液用薬	84.3	100.0	99.9	99.8	99.7	99.5	99.2	98.7	97.5	95.4	92.8	89.8	87.5	86.1	84.7	81.7	78.0	76.8	77.3	79.4	82.8	85.5
39 その他の代謝性医薬品	66.5	44.1	33.8	28.0	43.4	55.5	61.1	64.5	66.6	69.2	70.7	71.7	72.0	71.6	70.4	67.5	63.1	60.5	59.3	59.2	60.4	64.3
42 腫瘍用薬	59.8	0.0	22.0	19.6	19.0	24.8	58.1	59.7	64.5	65.9	66.0	64.0	59.6	58.4	58.2	56.4	57.2	60.0	60.8	61.1	60.6	58.1
44 アレルギー用薬	65.2	43.8	45.7	56.0	69.4	74.4	75.8	75.4	74.4	73.1	72.2	71.7	71.9	71.8	70.8	67.8	64.6	63.5	63.9	65.9	68.6	70.1
61 抗生物質製剤	58.7	38.4	42.7	50.3	60.1	64.6	65.2	64.3	63.2	63.1	62.9	62.6	63.2	63.8	64.5	62.8	61.1	59.8	59.6	59.8	57.2	57.0
62 化学療法剤	53.6	45.0	46.4	50.7	62.2	66.0	65.2	63.3	59.4	55.8	53.7	54.3	54.9	54.8	53.9	52.4	50.1	48.5	48.4	49.7	53.0	52.1

注1） 薬効分類別に集計したものである。
注2) 年齢を5歳ごとに区切り、集計したものである。
注3） 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注4） 「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/(〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕)で算出している。

都道府県別にみた後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）

○ 都道府県別に後発医薬品割合（数量ベース、新指標）をみると、山梨県、徳島県で低いが、前年からの伸びが大きい。



注1) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。
注2) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注3) 「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

薬効分類別、都道府県別にみた後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）

○ 薬効分類別、都道府県別に後発医薬品割合（数量ベース）をみると、

・後発医薬品割合（数量ベース）の上位3都道府県は沖縄県、鹿児島県、岩手県であり、いずれの薬効分類においても高い。一方、下位3都道府県は、徳島県、山梨県、高知県であり、いずれの薬効分類においても低い。

・中枢神経系用薬は、石川県、宮崎県等で高く、大阪府、和歌山県等で低い。

・循環器官用薬は、福井県、島根県等で高く、東京都、香川県等で低い。

・外皮用薬は、宮城県、新潟県等で高く、石川県、和歌山県等で低い。

薬効分類別 都道府県別 後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）（%）

	全国	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知
総数	69.6	71.2	71.2	75.9	72.3	70.0	73.9	69.5	69.1	69.7	73.3	70.8	70.2	65.2	68.0	72.0	73.6	72.1	74.1	63.6	73.4	68.1	71.2	69.7
11 中枢神経系用薬	60.6	64.3	64.2	67.4	64.8	61.3	66.7	59.9	62.2	60.8	64.5	63.2	62.9	57.3	60.0	64.2	64.4	67.8	59.8	53.4	64.2	59.2	63.0	60.0
13 感覚器官用薬	56.3	60.8	63.5	63.2	63.9	60.9	68.9	57.0	51.5	56.5	58.4	56.7	53.7	46.8	49.1	60.6	64.3	59.6	66.7	43.2	60.2	58.4	57.6	61.8
21 循環器官用薬	71.2	72.9	72.0	77.8	73.8	70.0	76.7	68.9	70.0	70.8	75.3	72.5	71.9	65.8	69.6	74.3	77.5	74.0	78.2	64.8	76.1	70.3	73.0	71.9
22 呼吸器官用薬	72.2	74.1	76.5	82.2	76.6	71.6	75.5	77.5	70.8	73.5	74.5	71.1	70.6	63.0	67.8	76.6	78.6	79.2	77.4	58.6	76.3	73.5	74.5	76.6
23 消化器官用薬	81.6	81.6	82.6	83.9	83.8	82.6	85.5	82.9	81.1	81.0	84.8	81.1	81.5	76.0	78.5	83.7	86.7	83.7	89.2	78.3	85.2	80.5	82.0	80.3
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	71.7	76.4	76.4	84.7	73.9	71.9	80.3	71.1	72.2	71.8	74.2	71.6	69.4	66.1	66.2	76.0	72.9	76.1	76.1	68.3	77.6	70.2	72.7	71.5
26 外皮用薬	40.4	40.2	43.5	47.8	45.0	41.6	43.6	42.1	41.0	38.9	44.7	43.0	41.8	37.5	39.2	45.0	39.7	33.8	37.2	38.9	42.6	36.2	43.4	41.1
33 血液・体液用薬	84.3	82.3	83.3	85.4	85.1	83.3	86.1	82.3	81.8	84.9	86.9	84.1	84.8	84.8	84.3	83.9	83.4	80.7	86.5	78.6	87.0	83.5	85.0	86.7
39 その他の代謝性医薬品	66.5	69.0	68.0	70.8	67.7	68.0	70.3	65.6	66.3	66.3	71.7	68.6	67.7	61.5	65.5	70.0	68.7	65.8	70.5	61.0	71.8	65.9	68.1	67.3
42 腫瘍用薬	59.8	65.7	62.6	80.6	65.0	69.8	69.9	60.1	63.2	63.5	55.9	61.7	56.5	57.2	59.5	64.8	59.3	65.0	60.4	55.0	63.5	54.9	63.9	58.2
44 アレルギー用薬	65.2	71.1	67.6	74.4	69.0	68.3	66.7	66.7	63.3	67.4	67.8	64.0	64.0	57.3	63.1	70.1	73.7	72.0	69.6	53.0	71.2	65.6	65.4	66.5
61 抗生物質製剤	58.7	61.3	57.9	64.7	56.5	58.2	59.4	60.3	58.5	55.2	58.7	58.7	58.7	55.6	59.5	57.9	70.7	70.5	67.7	47.3	66.3	56.5	59.2	57.4
62 化学療法剤	53.6	57.5	56.3	58.4	57.4	54.4	56.8	55.4	57.0	56.6	59.9	51.4	54.6	48.3	52.4	54.5	56.1	58.1	55.7	52.5	56.2	55.3	53.0	57.1

	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
総数	70.8	69.9	66.8	66.6	68.7	68.4	66.5	73.6	74.2	71.5	67.2	71.9	61.3	67.3	70.6	64.4	70.1	71.4	71.0	71.8	70.1	74.6	77.3	80.4
11 中枢神経系用薬	59.1	57.7	55.6	53.3	57.3	57.0	50.2	63.0	66.9	60.6	57.9	62.6	45.3	56.6	60.8	55.7	63.2	63.9	64.1	66.1	58.2	67.1	68.7	74.3
13 感覚器官用薬	61.1	54.5	45.5	51.0	53.0	53.1	53.6	58.2	67.5	58.1	54.8	61.4	48.6	57.2	58.1	50.3	56.9	60.6	59.7	63.0	54.4	64.7	70.7	66.3
21 循環器官用薬	74.8	71.2	68.0	67.9	70.0	68.6	67.8	77.5	78.2	73.3	67.9	72.1	62.5	66.6	71.0	66.3	71.0	73.4	72.3	73.0	72.1	78.4	80.1	82.4
22 呼吸器官用薬	77.4	73.8	69.9	70.1	70.7	73.1	76.6	75.0	77.0	74.2	70.7	76.9	69.9	71.4	76.0	64.2	75.1	78.5	73.2	73.8	72.3	79.2	83.9	87.2
23 消化器官用薬	83.2	82.3	80.3	80.5	82.0	81.3	80.3	86.0	85.7	85.3	80.7	85.5	77.5	81.4	85.3	77.9	83.9	86.1	85.6	85.6	84.2	86.8	89.5	89.6
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	71.4	74.3	70.4	69.1	69.3	71.2	69.7	78.0	77.1	68.8	72.6	76.8	61.9	65.7	73.8	65.8	75.5	71.4	73.0	71.3	74.5	77.7	79.5	82.7
26 外皮用薬	36.5	41.7	35.1	37.2	40.2	36.3	32.2	44.3	39.1	41.3	36.4	43.3	31.4	39.4	42.7	35.9	39.0	42.2	40.7	40.0	39.4	46.3	47.8	58.2
33 血液・体液用薬	84.3	86.6	84.0	82.9	84.7	82.7	82.6	89.6	87.2	85.1	80.6	82.0	80.1	81.7	83.5	76.6	84.2	84.1	83.0	86.1	84.5	88.1	90.8	92.4
39 その他の代謝性医薬品	70.4	66.9	62.2	64.7	65.5	68.4	61.2	65.2	68.1	66.6	66.0	63.5	57.4	64.7	67.3	62.9	65.1	67.0	63.6	66.6	66.4	69.2	74.3	72.6
42 腫瘍用薬	62.6	52.4	51.7	54.8	56.7	54.8	54.1	59.3	57.6	57.1	54.2	59.0	47.9	52.0	59.4	59.4	58.8	63.9	65.6	63.3	65.3	75.0	72.8	66.0
44 アレルギー用薬	70.1	69.8	63.7	61.9	64.0	67.4	62.2	66.6	66.7	70.0	66.8	70.3	53.9	62.4	63.3	62.8	66.4	71.0	68.0	68.6	66.2	71.4	79.5	79.0
61 抗生物質製剤	64.5	65.2	58.6	56.7	57.8	61.4	56.7	65.4	59.0	59.4	56.8	61.0	45.5	57.3	58.1	50.9	57.8	61.9	62.7	57.9	57.7	63.6	66.0	75.6
62 化学療法剤	60.2	53.9	50.8	50.3	53.9	57.5	48.0	57.0	52.0	54.5	48.1	58.8	37.0	48.4	49.4	41.4	55.2	53.6	60.4	54.9	50.1	53.3	66.0	69.7

注1） 薬効分類別に集計したものである。

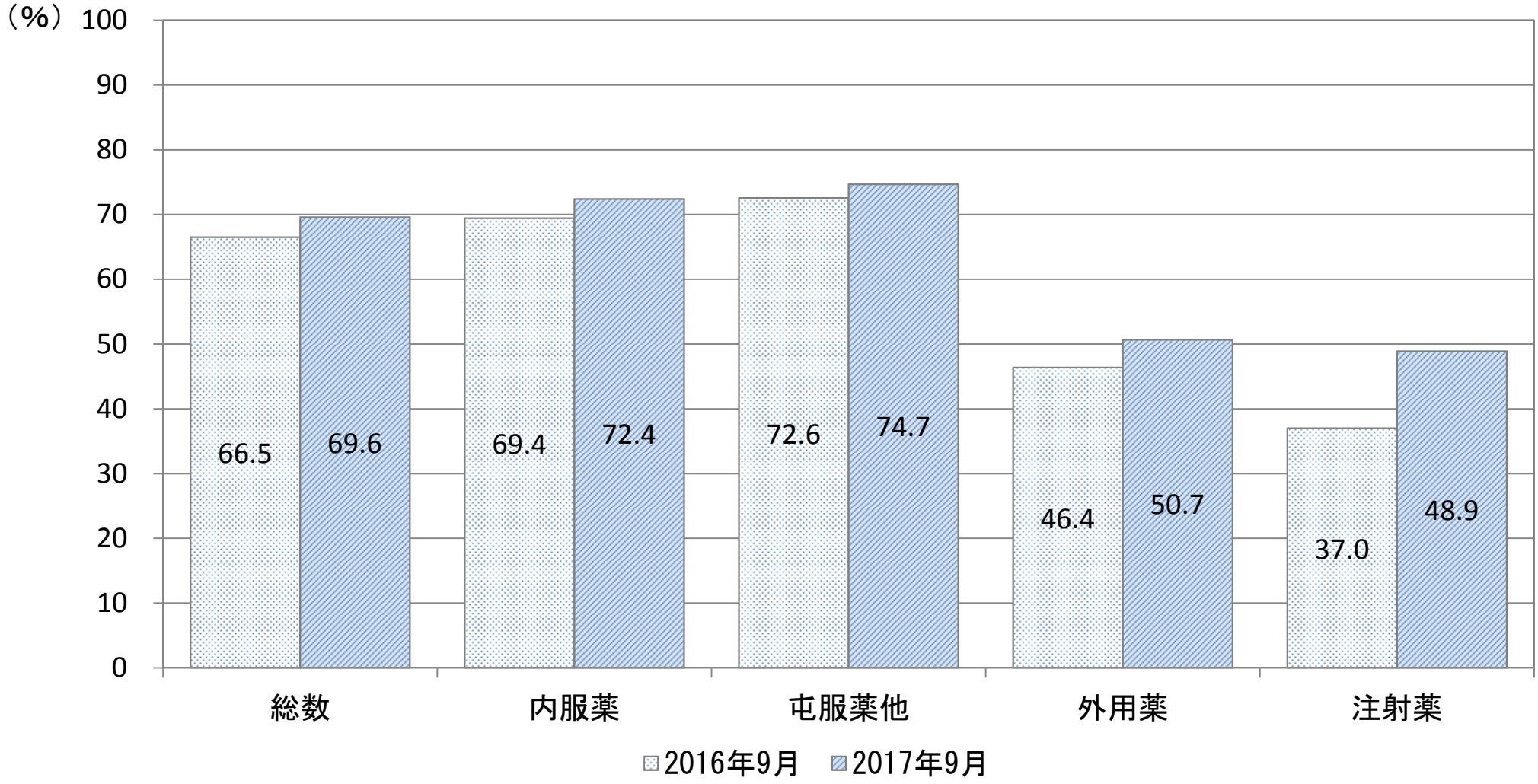
注2) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

注3） 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注4） 「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

剤形別にみた後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）

○ 剤形別に後発医薬品割合をみると、内服薬、注射薬が高く、外用薬、注射薬が低い。



注1） 剤形別に集計したものである。歯科用薬剤は表章していない。
注2） 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注3） 「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

剤型別、年齢階級別、都道府県別にみた後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）

○ 剤形別、年齢階級別、都道府県別に後発医薬品割合（数量ベース）をみると、
- 外用薬は年齢階級が高くなるにつれて低くなる傾向がみられる。
- 福井県、島根県等の都道府県において、後発医薬品割合全体（総数）が高いが、外用薬、注射薬の後発医薬品割合が低いことがある。

剤形別 年齢階級別 後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）（%）

	総数	5歳未満	5歳以上10歳未満	10歳以上15歳未満	15歳以上20歳未満	20歳以上25歳未満	25歳以上30歳未満	30歳以上35歳未満	35歳以上40歳未満	40歳以上45歳未満	45歳以上50歳未満	50歳以上55歳未満	55歳以上60歳未満	60歳以上65歳未満	65歳以上70歳未満	70歳以上75歳未満	75歳以上80歳未満	80歳以上85歳未満	85歳以上90歳未満	90歳以上95歳未満	95歳以上100歳未満	100歳以上
総数	69.6	64.5	59.2	62.4	67.4	70.2	71.1	70.5	69.5	69.4	70.0	71.1	72.3	73.1	72.7	70.4	67.7	67.2	68.1	70.4	73.2	75.6
内服薬	72.4	63.3	55.8	60.6	68.3	71.5	72.2	71.6	70.7	70.7	71.6	72.8	74.4	75.5	75.4	73.6	71.4	71.1	72.1	74.4	77.3	79.8
屯服薬他	74.7	93.1	93.8	89.8	83.7	81.6	79.4	76.5	73.4	70.7	69.5	69.8	71.3	72.6	72.6	72.0	71.9	73.1	75.3	78.0	80.3	81.1
外用薬	50.7	65.6	65.9	63.4	63.0	64.2	65.2	64.0	61.7	59.6	58.0	56.3	54.2	52.1	49.8	47.0	44.1	42.8	42.6	43.6	45.2	48.3
注射薬	48.9	69.5	51.2	43.5	41.4	62.9	66.1	72.7	66.6	56.9	48.6	49.6	44.9	42.3	42.8	43.5	44.0	45.2	53.2	58.9	66.9	69.1

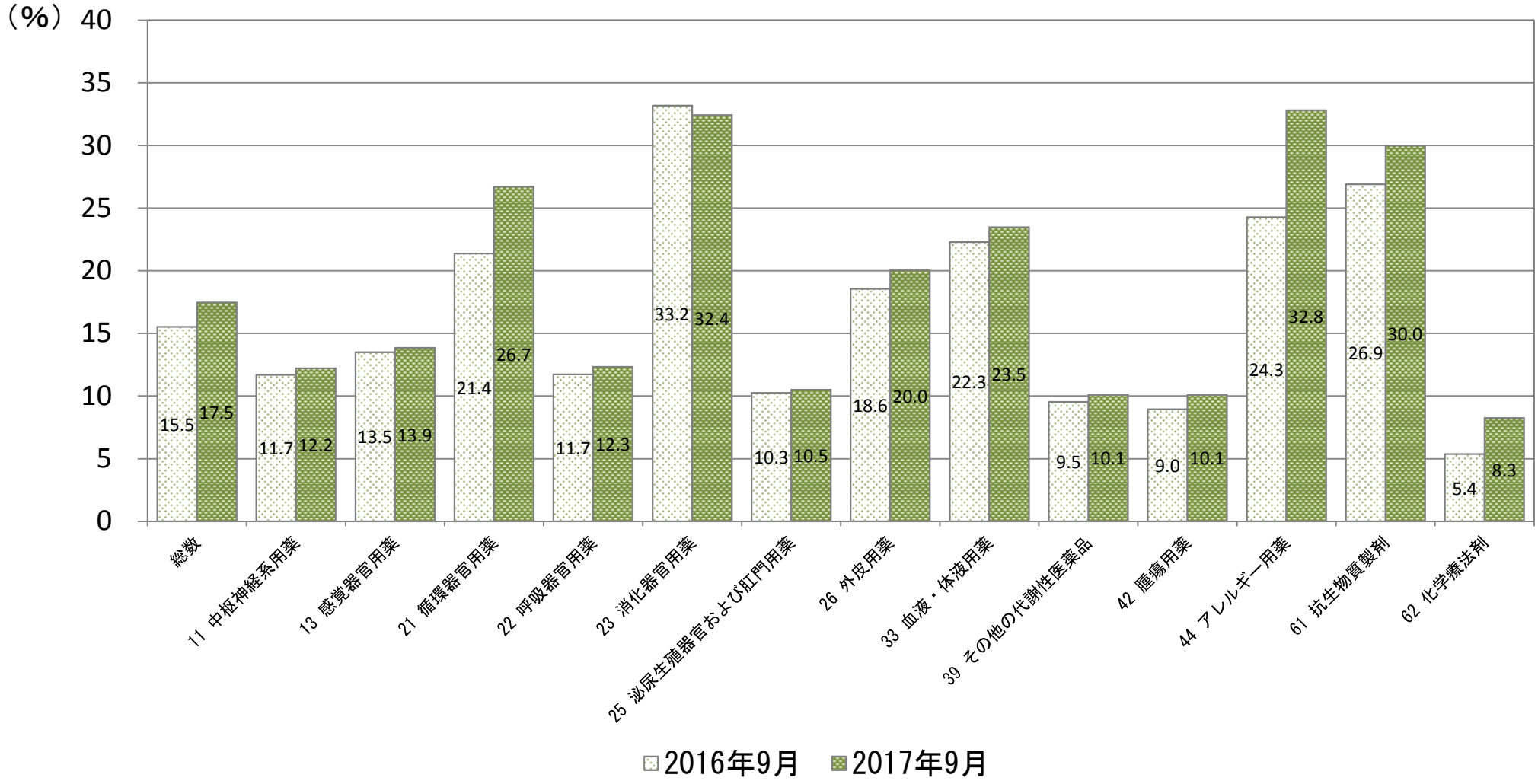
剤形別 都道府県別 後発医薬品割合（数量ベース）（2017年9月）（%）

	全国	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知
総数	69.6	71.2	71.2	75.9	72.3	70.0	73.9	69.5	69.1	69.7	73.3	70.8	70.2	65.2	68.0	72.0	73.6	72.1	74.1	63.6	73.4	68.1	71.2	69.7
内服薬	72.4	74.0	74.2	78.2	74.9	73.1	76.8	72.2	71.9	72.5	76.0	73.2	72.9	67.2	70.3	75.2	77.2	76.0	77.8	66.1	76.6	71.9	73.9	72.6
屯服薬他	74.7	76.8	79.4	83.2	80.5	78.5	79.3	79.1	78.6	77.4	77.3	79.9	75.1	73.5	76.0	76.9	84.0	80.8	83.5	68.2	76.5	72.6	77.5	73.3
外用薬	50.7	50.5	49.7	56.7	54.0	47.8	52.2	49.3	49.1	49.7	52.5	53.0	51.8	51.8	51.8	51.6	48.4	40.7	44.1	46.7	50.8	45.2	52.9	53.5
注射薬	48.9	50.7	41.6	58.6	63.6	65.6	49.8	43.8	46.0	54.3	65.1	57.5	49.8	48.9	58.2	34.7	48.7	65.5	36.8	23.9	38.5	56.3	54.1	42.4
	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
総数	70.8	69.9	66.8	66.6	68.7	68.4	66.5	73.6	74.2	71.5	67.2	71.9	61.3	67.3	70.6	64.4	70.1	71.4	71.0	71.8	70.1	74.6	77.3	80.4
内服薬	74.7	72.8	69.7	69.5	71.6	71.8	69.7	76.3	77.4	74.4	70.2	74.7	64.6	70.2	74.0	67.5	73.4	75.0	74.7	75.6	73.5	78.5	81.3	82.5
屯服薬他	75.8	73.1	70.7	66.5	70.2	76.0	66.2	81.9	84.1	79.2	75.1	77.4	64.7	72.6	76.1	70.9	82.6	84.0	80.6	79.8	75.1	80.5	84.3	91.0
外用薬	45.5	51.7	48.6	48.5	52.0	47.7	43.5	53.6	45.8	49.8	46.3	51.7	39.6	50.6	49.0	42.4	49.2	50.4	48.2	50.1	45.2	52.1	53.9	65.9
注射薬	56.1	45.9	43.5	46.9	54.4	42.7	47.2	41.4	46.5	42.4	42.5	42.0	40.8	41.4	66.8	45.4	36.0	40.1	37.8	34.4	35.2	44.8	55.5	61.1

注1） 剤形別に集計したものである。歯科用薬剤は表章していない。
注2) 上表は、年齢を5歳ごとに区切り、集計したものである。
注3) 下表は、保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。
注4） 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注5） 「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/(〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕)で算出している。

薬効分類別にみた後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）

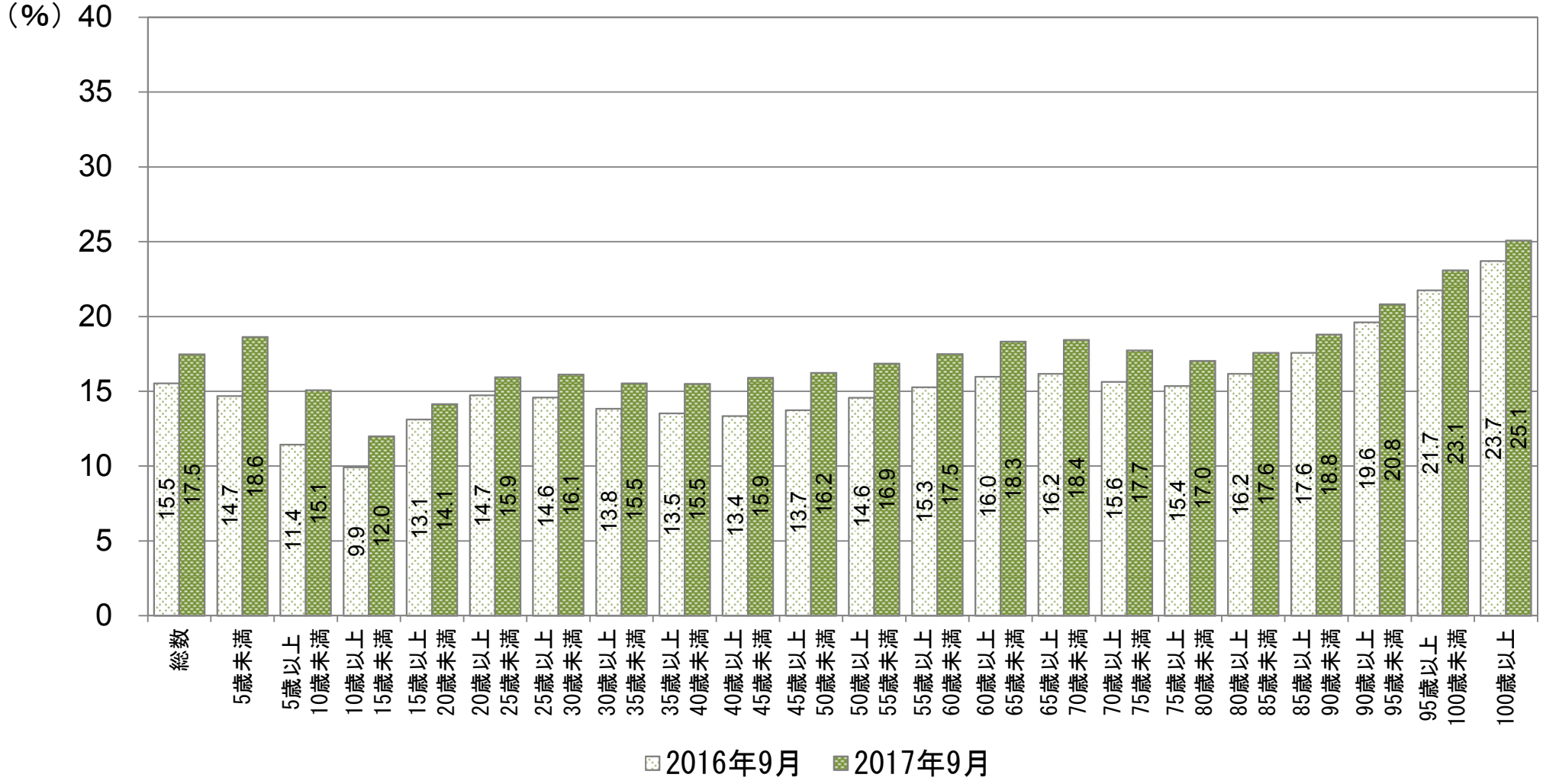
○ 薬効分類別に後発医薬品割合（薬剤料ベース）の推移をみると、循環器官用薬、アレルギー用薬の伸び幅が大きい。



注1） 薬効分類別に集計したものである。
注2） 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。
注3） 「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

年齢階級別にみた後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）

○ 年齢階級別に後発医薬品割合（薬剤料ベース）の推移をみると、10歳未満の伸び幅が特に大きい。



注1) 年齢を5歳ごとに区切り、集計したものである。
注2) 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。
注3) 「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

薬効分類別、年齢階級別にみた後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）

○ 薬効分類別、年齢階級別に後発医薬品割合（薬剤料ベース）をみると、
- 中枢神経系用薬は、5歳未満、85歳以上で高く、5歳以上20歳未満で低い。
- 循環器官用薬、その他の代謝性医薬品は、年齢階級が高くなるにつれて、高くなる傾向がみられる。
- 消化器官用薬は、15歳未満、85歳以上で高く、15歳以上60歳未満で低い。

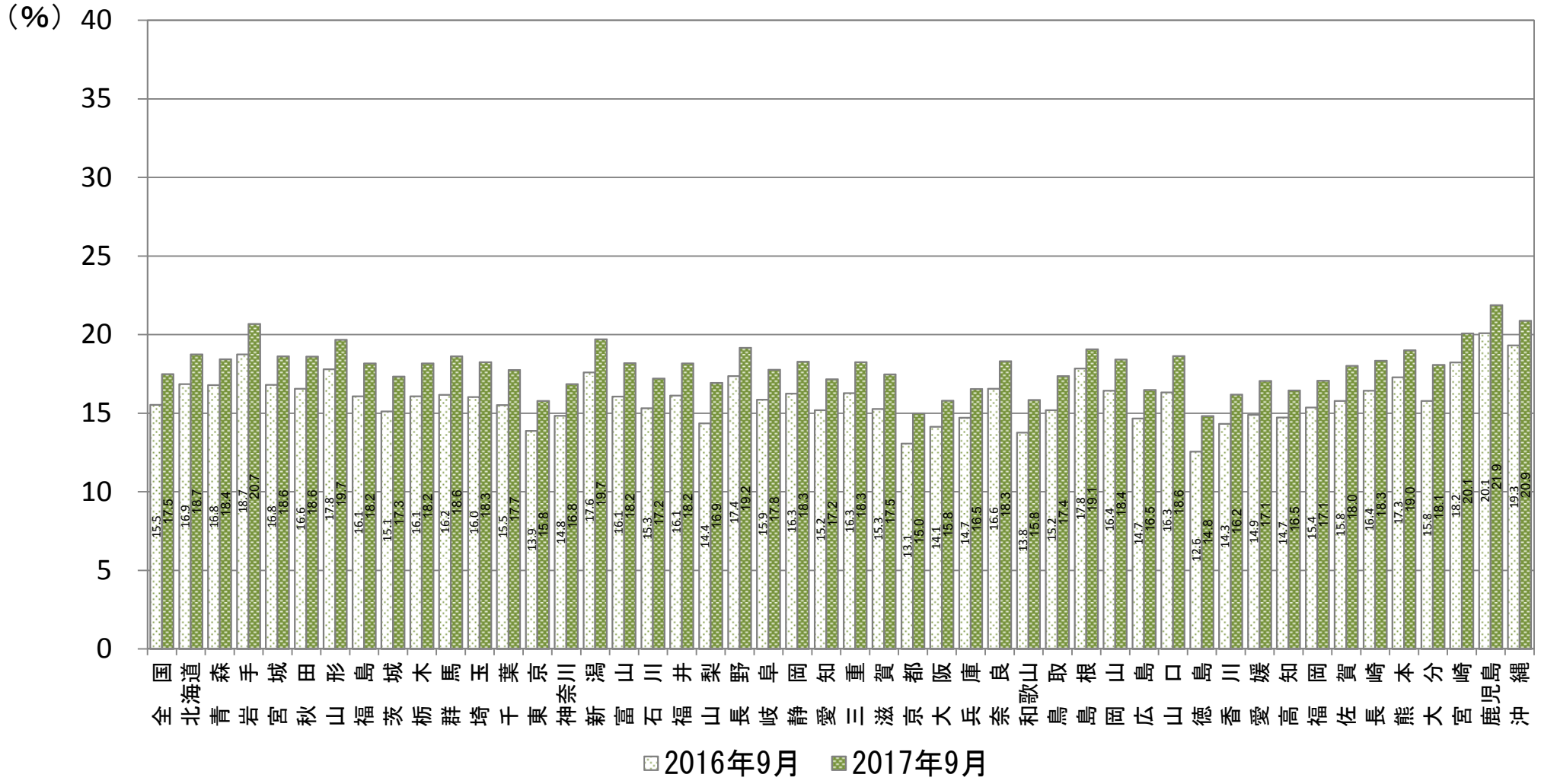
薬効分類別 年齢階級別 後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）（%）

	総数	5歳未満	5歳以上10歳未満	10歳以上15歳未満	15歳以上20歳未満	20歳以上25歳未満	25歳以上30歳未満	30歳以上35歳未満	35歳以上40歳未満	40歳以上45歳未満	45歳以上50歳未満	50歳以上55歳未満	55歳以上60歳未満	60歳以上65歳未満	65歳以上70歳未満	70歳以上75歳未満	75歳以上80歳未満	80歳以上85歳未満	85歳以上90歳未満	90歳以上95歳未満	95歳以上100歳未満	100歳以上
総数	17.5	18.6	15.1	12.0	14.1	15.9	16.1	15.5	15.5	15.9	16.2	16.9	17.5	18.3	18.4	17.7	17.0	17.6	18.8	20.8	23.1	25.1
11 中枢神経系用薬	12.2	19.4	3.6	3.5	7.0	10.5	11.9	13.1	13.8	13.8	13.6	13.2	12.7	12.0	10.9	10.2	10.3	12.1	14.6	17.5	19.9	21.1
13 感覚器官用薬	13.9	11.7	6.5	6.3	10.3	13.0	13.2	13.1	13.0	12.8	12.8	12.6	12.9	13.8	14.7	14.9	14.8	14.8	14.4	14.7	16.4	18.9
21 循環器官用薬	26.7	2.6	2.5	8.2	11.0	17.4	17.1	16.2	18.5	21.3	23.1	25.7	27.2	28.8	29.6	28.3	26.0	25.8	26.5	28.1	30.5	32.1
22 呼吸器官用薬	12.3	27.8	24.3	17.9	16.3	15.7	14.1	13.0	11.0	9.2	8.0	8.1	8.7	8.9	8.7	8.8	9.5	10.7	12.9	17.2	23.8	31.3
23 消化器官用薬	32.4	45.9	48.5	41.7	29.5	26.7	27.1	27.6	27.3	27.4	28.6	29.9	31.5	32.9	33.2	32.4	31.7	32.9	35.2	38.8	43.5	48.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	10.5	10.6	3.8	4.9	11.9	20.6	23.5	23.0	18.2	12.3	9.9	10.2	11.7	13.2	13.3	11.5	9.8	9.0	8.7	8.8	8.8	9.1
26 外皮用薬	20.0	11.4	12.6	16.3	11.9	13.0	15.0	17.7	19.3	20.7	22.1	23.1	23.4	23.5	22.9	21.7	20.3	19.6	19.2	18.8	17.8	16.7
33 血液・体液用薬	23.5	18.0	19.5	26.4	32.5	34.4	35.4	35.9	35.8	33.8	31.8	29.8	28.2	26.4	24.7	22.6	20.9	21.3	21.6	22.9	25.5	29.2
39 その他の代謝性医薬品	10.1	5.2	3.8	3.2	4.4	6.2	6.9	6.6	7.3	8.0	8.8	9.5	10.1	10.7	11.0	10.8	10.5	10.6	10.8	11.3	12.0	12.7
42 腫瘍用薬	10.1	0.0	0.5	1.1	0.5	0.5	1.2	2.5	4.1	7.7	10.3	11.1	9.5	8.8	8.7	8.9	10.4	12.9	15.4	20.5	23.3	38.1
44 アレルギー用薬	32.8	18.6	22.0	26.1	34.5	35.8	36.4	36.9	37.0	37.2	37.1	37.8	38.6	39.4	39.1	36.7	34.2	33.4	33.5	34.9	37.3	37.9
61 抗生物質製剤	30.0	16.9	21.7	32.0	38.1	40.8	42.3	41.3	39.4	37.2	35.1	33.6	32.3	31.5	31.1	29.0	28.6	29.0	31.4	34.4	32.5	32.2
62 化学療法剤	8.3	24.4	23.6	24.2	23.9	19.7	14.0	10.4	8.0	7.3	6.8	6.6	6.8	7.6	7.7	7.6	7.1	7.1	9.5	12.1	12.9	13.6

注1） 薬効分類別に集計したものである。
注2） 年齢を5歳ごとに区切り、集計したものである。
注3） 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。
注4） 「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

都道府県別にみた後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）

○ 都道府県別に後発医薬品割合（薬剤料ベース）をみると、東京都、京都府、山梨県、徳島県等で低く、岩手県、新潟県、鹿児島県、沖縄県等で高い。前年からはいずれの都道府県でも上昇している。



注1) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。
注2）「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。
注3）「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

薬効分類別、都道府県別にみた後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）

○ 薬効分類別、都道府県別に後発医薬品割合（数量ベース）をみると、
- 後発医薬品割合（薬剤料ベース）の上位3都道府県は鹿児島県、沖縄県、岩手県と後発医薬品割合（数量ベース）と同様であるが、下位3都道府県は、徳島県、京都府、東京都と後発医薬品割合（数量ベース）とは異なる。
- 中枢神経系用薬は、山形県、群馬県等で高く、大阪府、和歌山県等で低い。
- 循環器官用薬は、島根県、宮崎等で高く、香川県、高知県等で低い。
- その他の代謝性医薬品は、青森県、山梨県等で高く、和歌山県、愛媛県等で低い。

薬効分類別 都道府県別 後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）（%）

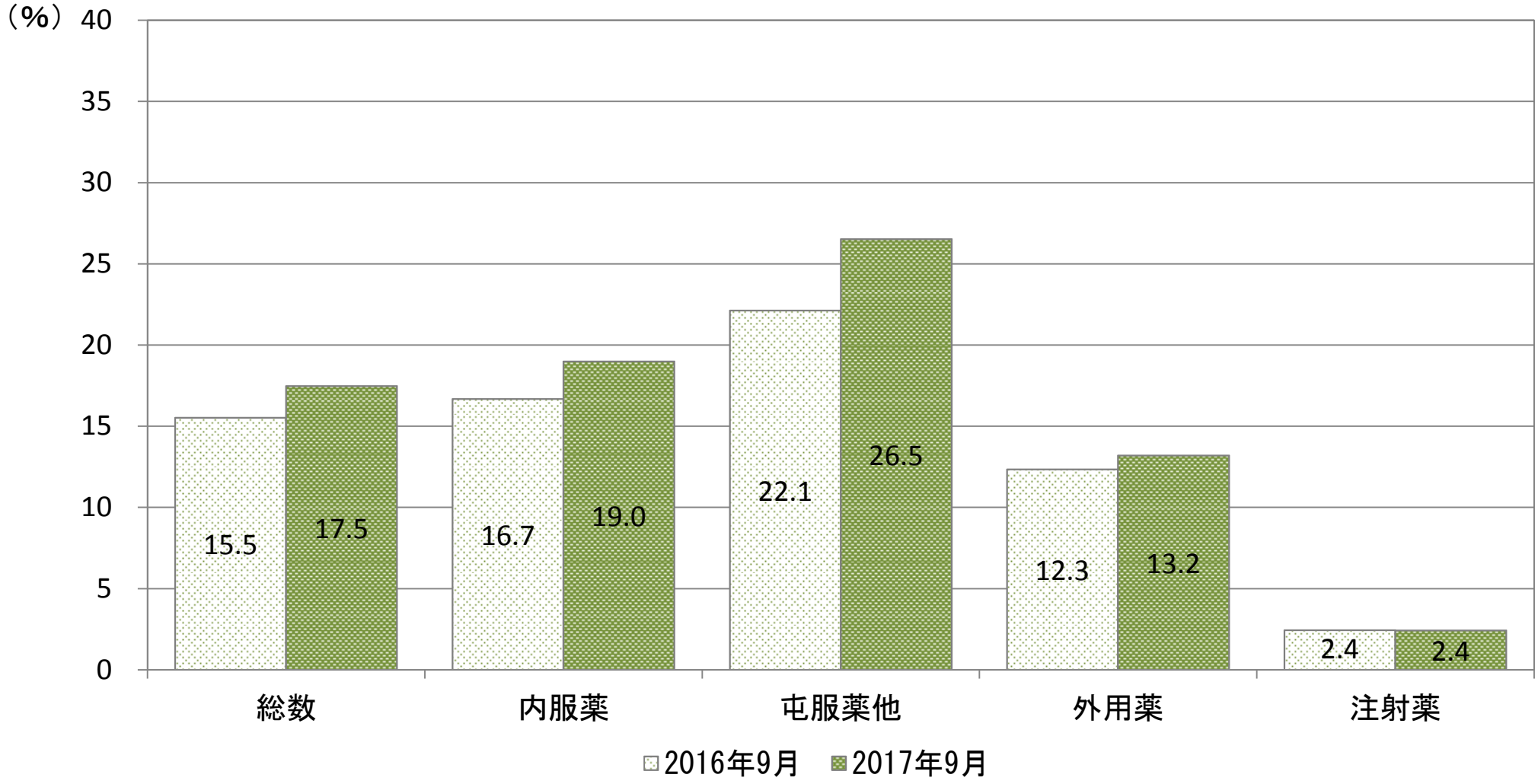
	全国	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知
総数	17.5	18.7	18.4	20.7	18.6	18.6	19.7	18.2	17.3	18.2	18.6	18.3	17.7	15.8	16.8	19.7	18.2	17.2	18.2	16.9	19.2	17.8	18.3	17.2
11 中枢神経系用薬	12.2	13.5	12.0	13.3	12.5	12.1	13.8	12.4	11.9	12.4	13.9	13.3	12.3	11.5	12.5	13.7	12.1	12.9	11.3	11.8	13.8	12.2	12.5	11.5
13 感覚器官用薬	13.9	16.5	14.6	17.1	16.1	16.7	18.0	15.9	12.9	15.2	14.5	14.4	13.3	11.7	11.5	15.5	13.1	11.5	12.4	10.2	12.5	14.4	13.6	15.5
21 循環器官用薬	26.7	28.1	30.0	32.0	30.8	28.1	31.8	26.6	26.3	27.2	29.0	26.9	27.9	23.2	25.3	30.0	29.5	26.1	30.2	23.8	31.2	27.8	28.6	26.6
22 呼吸器官用薬	12.3	11.7	16.4	17.0	13.2	13.7	15.7	17.2	11.2	15.1	12.8	12.8	12.8	10.2	11.1	14.1	13.4	12.2	12.6	10.4	11.7	12.7	11.3	11.8
23 消化器官用薬	32.4	33.2	35.0	37.4	33.4	32.4	35.3	32.6	29.9	31.4	34.8	33.1	32.3	28.4	29.7	34.8	34.4	30.5	37.3	29.8	35.8	31.0	34.3	31.4
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	10.5	11.7	11.0	12.2	10.9	9.5	11.6	11.2	10.7	9.1	12.1	11.2	10.7	9.8	9.7	11.5	11.0	10.5	11.9	11.3	13.3	10.4	12.1	9.9
26 外皮用薬	20.0	20.2	21.3	22.7	21.5	19.8	21.8	21.6	20.1	18.1	23.8	21.7	21.0	17.4	19.1	23.1	18.7	15.1	17.9	20.4	23.2	17.8	21.9	20.9
33 血液・体液用薬	23.5	24.0	21.2	26.2	21.0	21.9	23.0	21.2	21.7	22.7	25.4	23.7	22.1	21.7	22.1	20.9	25.4	21.9	24.1	22.3	25.2	24.0	24.0	25.8
39 その他の代謝性医薬品	10.1	10.4	11.9	11.3	10.1	9.3	10.9	9.8	10.8	11.1	10.7	10.5	10.8	9.3	10.3	10.8	10.5	10.0	9.9	14.3	11.3	9.5	9.8	9.3
42 腫瘍用薬	10.1	10.5	11.4	16.2	10.8	12.7	12.8	11.7	12.1	11.8	10.1	10.8	9.5	10.4	10.2	12.7	8.5	11.8	9.5	12.1	10.7	10.6	10.9	10.3
44 アレルギー用薬	32.8	37.4	35.0	37.7	34.6	37.1	31.9	34.4	30.9	34.4	34.1	32.2	32.3	26.8	31.5	37.8	37.7	37.2	35.6	24.1	36.9	32.3	32.9	32.3
61 抗生物質製剤	30.0	32.4	30.3	35.6	27.7	28.5	26.9	32.7	31.2	29.1	27.5	31.1	31.0	28.7	32.0	28.9	36.5	37.5	38.1	24.3	36.1	29.2	29.3	27.8
62 化学療法剤	8.3	8.8	6.6	10.3	11.1	12.5	13.9	8.8	7.3	6.7	8.2	8.7	8.1	6.7	7.4	15.6	9.5	8.8	8.5	8.9	10.1	11.0	8.9	8.0

	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
総数	18.3	17.5	15.0	15.8	16.5	18.3	15.8	17.4	19.1	18.4	16.5	18.6	14.8	16.2	17.1	16.5	17.1	18.0	18.3	19.0	18.1	20.1	21.9	20.9
11 中枢神経系用薬	12.2	12.1	11.1	10.2	11.5	12.0	10.7	12.4	13.6	13.0	11.6	12.0	9.1	10.7	11.9	11.3	12.8	13.1	13.3	13.6	11.5	13.5	14.4	15.1
13 感覚器官用薬	15.5	12.1	8.2	12.2	13.0	15.2	12.0	11.1	15.3	11.7	14.2	15.7	11.7	13.4	12.8	15.7	16.0	13.7	16.3	18.5	11.6	16.6	20.7	20.1
21 循環器官用薬	28.7	26.6	23.1	24.2	25.7	26.3	24.4	30.2	32.3	28.4	24.1	28.2	23.2	23.3	25.2	23.9	26.0	29.1	27.5	28.4	27.3	32.6	33.0	32.6
22 呼吸器官用薬	13.3	14.8	9.6	12.1	11.4	13.3	13.1	13.1	14.2	14.1	11.8	13.6	12.1	12.0	14.4	10.9	13.3	15.3	12.7	14.7	14.3	14.4	14.6	15.8
23 消化器官用薬	34.8	31.4	30.9	31.6	32.3	32.6	31.4	35.0	34.6	35.7	31.3	34.5	29.4	29.9	32.1	29.4	34.5	32.5	36.0	38.3	35.7	39.8	41.8	42.8
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	11.0	10.2	9.7	10.0	10.3	10.6	9.1	11.2	11.8	9.1	9.7	10.8	9.0	9.1	10.3	8.5	10.2	9.0	10.4	10.6	9.1	11.1	11.5	12.4
26 外皮用薬	17.4	21.4	17.6	18.3	20.0	17.9	14.9	22.2	18.9	21.3	17.5	23.8	15.8	20.9	23.1	18.1	19.3	20.5	21.4	21.0	20.2	23.9	25.3	31.2
33 血液・体液用薬	24.9	24.4	21.5	23.6	25.0	25.6	22.5	25.9	27.4	25.4	23.9	25.7	19.8	22.8	28.9	23.5	23.9	26.0	24.0	22.7	25.8	23.9	28.5	31.7
39 その他の代謝性医薬品	10.5	9.0	8.0	9.7	9.9	10.1	8.6	10.2	11.1	9.9	9.9	10.4	9.5	10.8	8.6	10.5	8.7	10.3	10.0	10.1	10.1	11.8	14.0	12.1
42 腫瘍用薬	9.7	7.1	6.7	8.0	8.2	11.9	8.8	8.3	10.1	7.1	9.5	11.4	8.2	7.9	8.0	10.0	9.9	9.0	10.8	12.6	12.2	11.5	13.3	11.0
44 アレルギー用薬	37.6	38.0	34.1	30.1	31.0	35.2	29.5	31.7	35.4	36.7	35.2	37.6	26.9	32.4	31.3	33.1	33.8	37.5	35.4	37.4	37.4	36.9	44.9	45.5
61 抗生物質製剤	36.2	35.7	28.5	28.2	27.8	34.7	27.0	30.5	29.6	30.2	30.5	30.2	20.4	27.3	28.2	24.5	27.9	30.5	30.4	28.7	30.3	35.5	33.9	34.2
62 化学療法剤	9.4	8.7	7.5	6.8	7.2	7.8	10.7	6.4	7.6	11.0	8.8	11.8	7.3	8.6	8.1	7.7	8.3	7.3	11.8	10.8	8.3	9.7	13.3	10.4

注1） 薬効分類別に集計したものである。
注2） 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。
注3） 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。
注4） 「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

剤形別にみた後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）

○ 剤形別に後発医薬品割合をみると、内服薬、注射薬が高く、外用薬、注射薬が低い。



注1） 剤形別に集計したものである。歯科用薬剤は表章していない。
注2） 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。
注3） 「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

剤型別、年齢階級別、都道府県別にみた後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）

○ 剤形別、年齢階級別、都道府県別に後発医薬品割合（薬剤料ベース）をみると、
・年齢階級、都道府県のどちらにおいても屯服薬他は全体的に高く、注射薬は全体的に低い。

剤形別 年齢階級別 後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）（%）

	総数	5歳未満	5歳以上10歳未満	10歳以上15歳未満	15歳以上20歳未満	20歳以上25歳未満	25歳以上30歳未満	30歳以上35歳未満	35歳以上40歳未満	40歳以上45歳未満	45歳以上50歳未満	50歳以上55歳未満	55歳以上60歳未満	60歳以上65歳未満	65歳以上70歳未満	70歳以上75歳未満	75歳以上80歳未満	80歳以上85歳未満	85歳以上90歳未満	90歳以上95歳未満	95歳以上100歳未満	100歳以上
総数	17.5	18.6	15.1	12.0	14.1	15.9	16.1	15.5	15.5	15.9	16.2	16.9	17.5	18.3	18.4	17.7	17.0	17.6	18.8	20.8	23.1	25.1
内服薬	19.0	22.0	18.7	15.6	17.0	17.5	17.4	16.9	16.8	17.3	17.7	18.2	19.0	19.9	19.9	19.1	18.2	18.8	20.2	22.4	24.8	26.8
屯服薬他	26.5	49.4	61.1	43.3	31.2	32.3	30.9	27.9	25.2	23.5	22.7	22.5	23.0	23.6	24.4	25.5	27.0	29.5	32.5	35.2	38.8	42.1
外用薬	13.2	14.6	12.3	13.0	13.7	14.7	15.1	14.6	13.6	13.0	12.9	12.8	13.0	13.3	13.3	13.2	12.9	12.8	12.8	13.5	15.1	17.6
注射薬	2.4	0.6	0.8	1.2	2.3	5.4	5.2	3.7	4.7	3.7	3.1	4.4	2.0	2.5	2.1	1.6	1.4	1.2	1.2	1.3	1.4	2.2

剤形別 都道府県別 後発医薬品割合（薬剤料ベース）（2017年9月）（%）

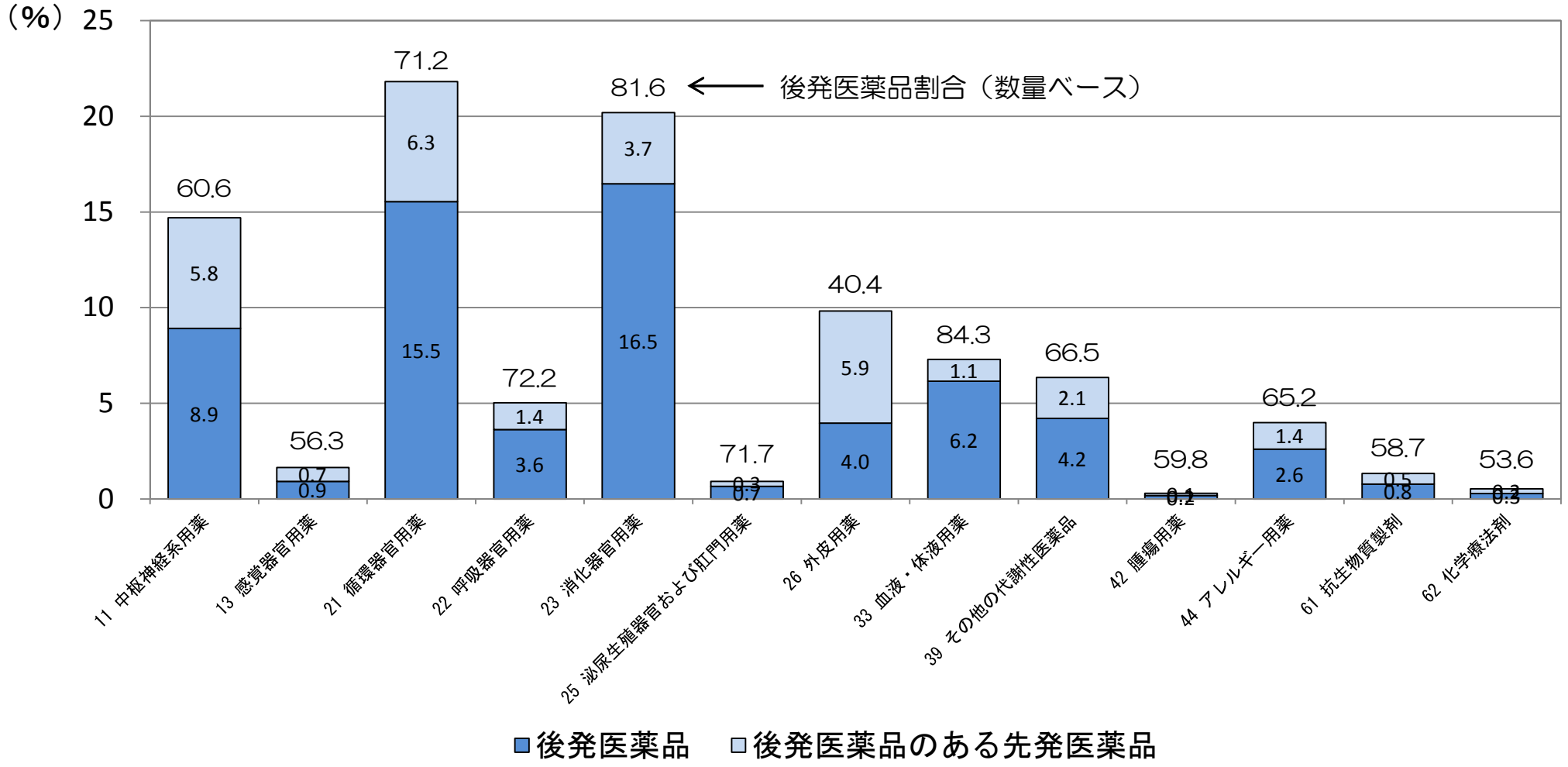
	全国	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知
総数	17.5	18.7	18.4	20.7	18.6	18.6	19.7	18.2	17.3	18.2	18.6	18.3	17.7	15.8	16.8	19.7	18.2	17.2	18.2	16.9	19.2	17.8	18.3	17.2
内服薬	19.0	20.4	20.0	22.3	20.5	20.1	21.2	19.5	18.9	19.6	20.4	19.8	19.2	17.0	18.5	21.5	20.0	19.0	19.9	18.3	21.0	19.4	20.0	18.5
屯服薬他	26.5	29.9	32.1	31.1	24.9	28.2	30.8	29.2	22.1	23.6	30.0	28.1	26.4	22.3	23.6	31.5	26.6	30.1	32.4	24.4	30.1	30.0	29.9	29.5
外用薬	13.2	13.5	14.0	15.1	14.0	13.6	15.3	14.7	12.4	13.0	14.0	13.8	13.3	11.8	11.8	14.1	12.7	10.2	11.5	11.8	13.9	12.8	13.2	14.3
注射薬	2.4	1.2	1.2	2.1	1.2	2.4	1.8	0.9	1.1	1.6	1.6	4.4	1.3	6.0	1.9	0.8	1.2	2.2	1.6	1.3	1.1	1.8	1.5	1.3

	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
総数	18.3	17.5	15.0	15.8	16.5	18.3	15.8	17.4	19.1	18.4	16.5	18.6	14.8	16.2	17.1	16.5	17.1	18.0	18.3	19.0	18.1	20.1	21.9	20.9
内服薬	20.0	18.9	16.5	16.9	18.1	19.9	17.4	18.8	21.0	20.1	18.0	20.3	16.1	17.4	18.5	17.7	18.5	19.4	20.1	20.5	19.7	21.8	23.5	22.7
屯服薬他	28.3	29.6	23.6	23.1	24.5	29.7	24.5	21.4	23.1	30.1	25.4	24.3	24.7	24.9	26.7	22.0	24.5	32.2	24.9	31.8	30.3	35.1	33.9	35.4
外用薬	12.7	14.1	11.3	12.8	13.7	13.7	11.4	12.6	11.9	12.4	12.0	14.7	11.4	14.0	13.7	12.5	13.8	13.8	14.5	16.0	12.0	15.1	17.2	18.5
注射薬	1.5	1.5	1.1	5.9	1.1	1.0	1.1	1.3	1.4	1.8	1.4	0.9	1.2	2.0	1.6	1.3	1.4	1.7	1.0	1.0	1.5	1.4	1.7	1.8

注1） 剤形別に集計したものである。歯科用薬剤は表章していない。
注2) 上表は、年齢を5歳ごとに区切り、集計したものである。
注3) 下表は、保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。
注4）「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。
注5）「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

薬効分類別にみた薬剤数量の構成比（2017年9月）

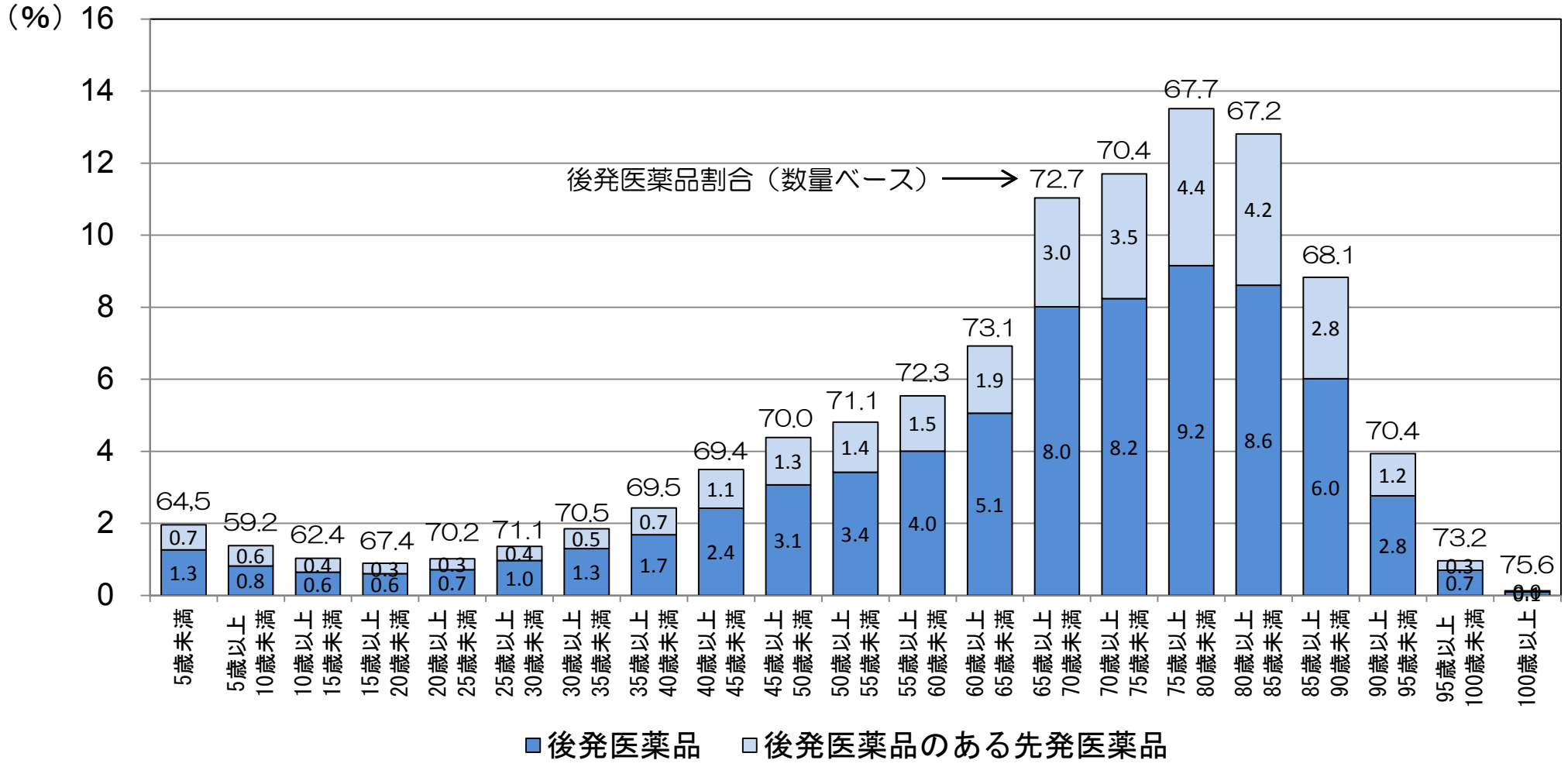
○　薬効分類別に薬剤数量の構成比をみると、中枢神経系用薬、循環器官用薬、消化器官用薬、外皮用薬で、後発医薬品の伸び代が大きい。



注1）　全数量（〔後発医薬品の数量〕+〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕）に対する薬効分類別のシェアを示したものであり、全数量を100（%）としたときの薬効分類別の数量をそれぞれ棒グラフで表示している。
注2）「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注3）「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

年齢階級別にみた薬剤数量の構成比（2017年9月）

○ 年齢階級別に薬剤数量の構成比をみると、65歳以上90歳未満で、後発医薬品の伸び代が大きい。



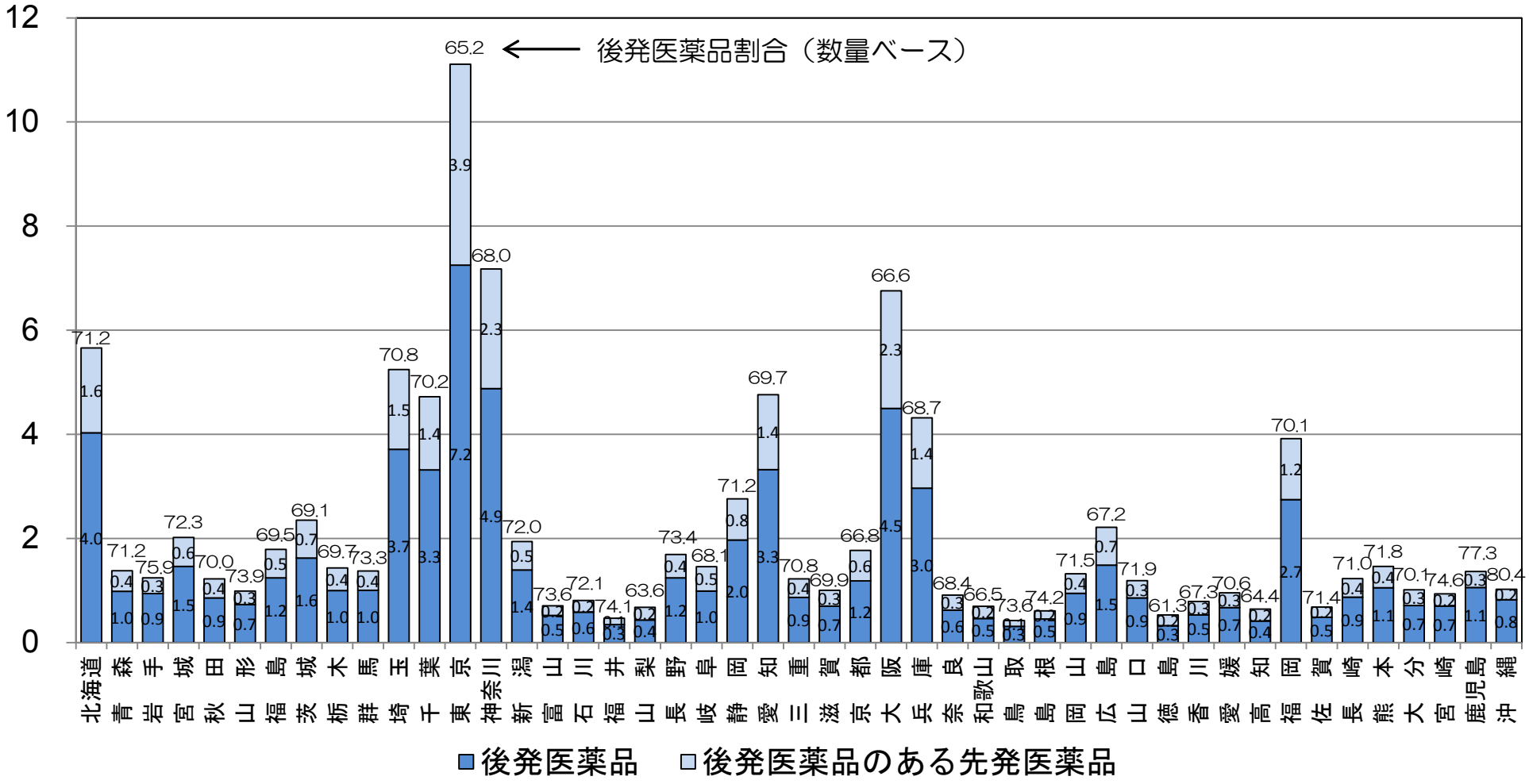
注1） 全数量（〔後発医薬品の数量〕+〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕）に対する年齢階級別のシェアを示したものであり、全数量を100（%）としたときの年齢階級別の数量をそれぞれ棒グラフで表示している。

注2） 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注3） 「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

都道府県別にみた薬剤数量の構成比（2017年9月）

○　都道府県別に薬剤数量の構成比をみると、東京都、神奈川県、大阪府等で、後発医薬品の伸び代が大きい。



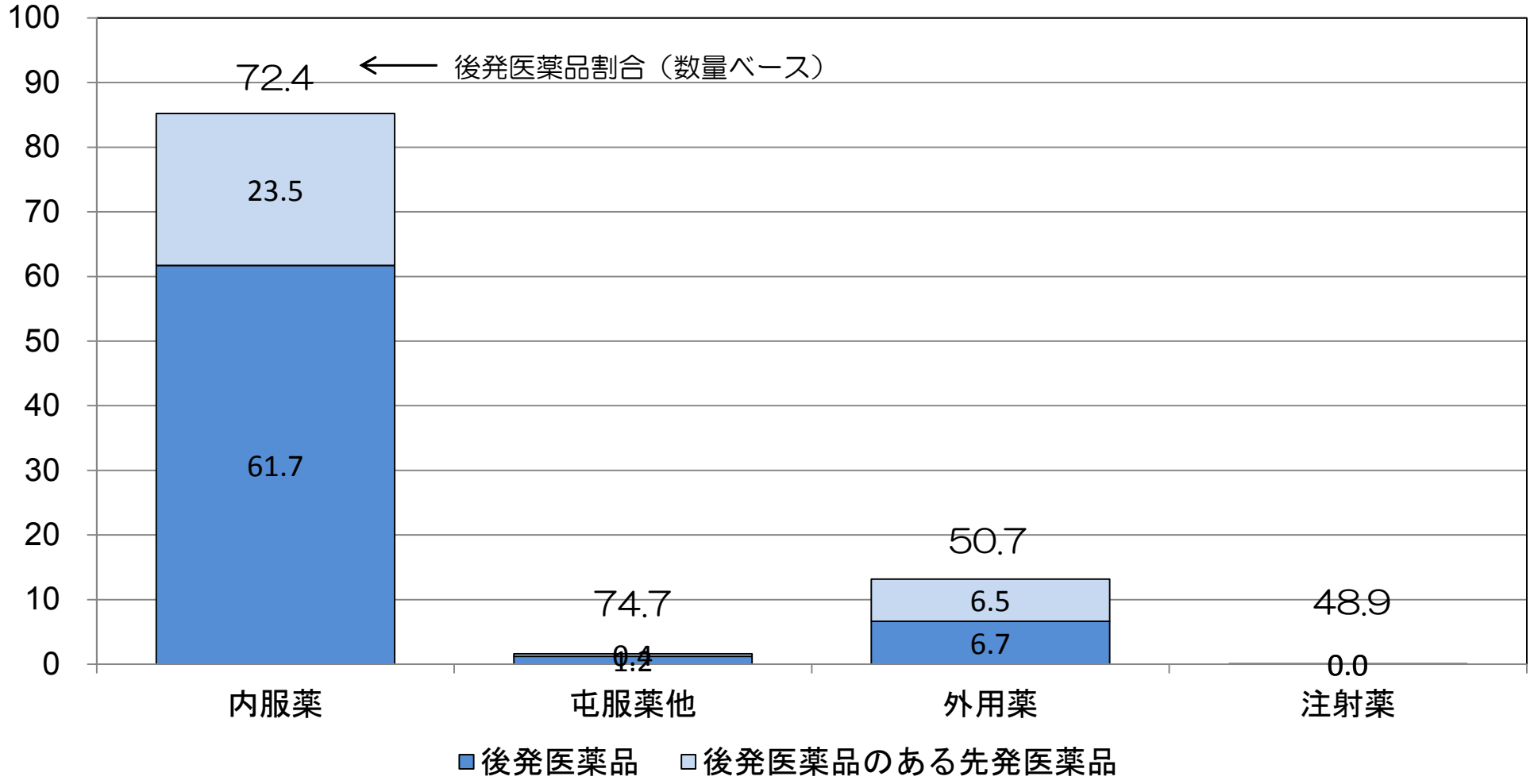
注1）　全数量（〔後発医薬品の数量〕+〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕）に対する都道府県別のシェアを示したものであり、全数量を100（%）としたときの都道府県別の数量をそれぞれ棒グラフで表示している。

注2）「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注3）「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

剤形別にみた薬剤数量の構成比（2017年9月）

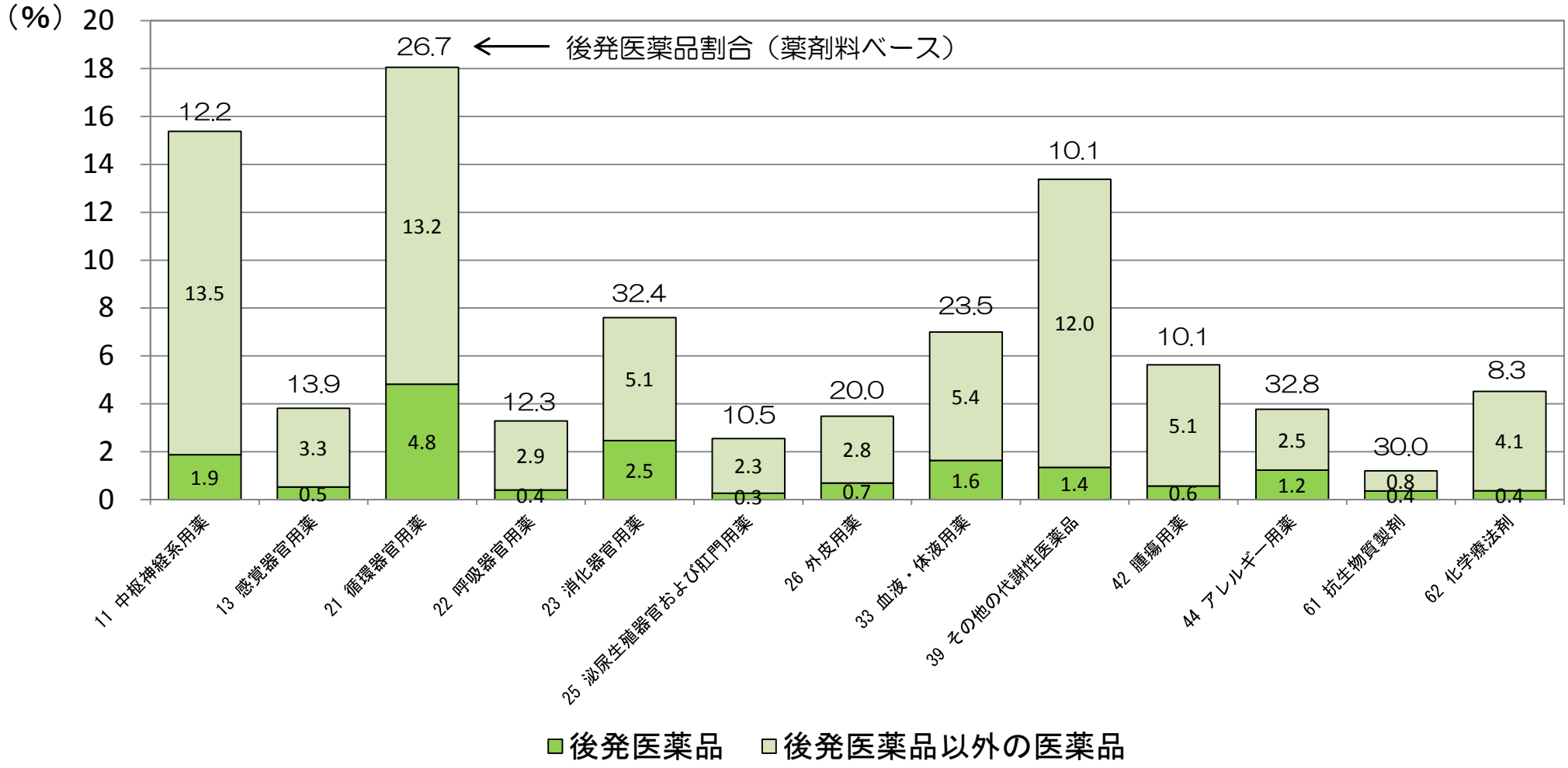
○ 剤形別に薬剤数量の構成比をみると、内服薬、外用薬で、後発医薬品の伸び代が大きい。



注1） 全数量（〔後発医薬品の数量〕+〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕）に対する剤型別のシェアを示したものであり、全数量を100（%）としたときの剤形別の数量をそれぞれ棒グラフで表示している。
注2） 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
注3） 「後発医薬品割合（数量ベース）」は、〔後発医薬品の数量〕/（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕）で算出している。

薬効分類別にみた薬剤料の構成比（2017年9月）

○　薬効分類別に薬剤料の構成比をみると、中枢神経系用薬、循環器官用薬、その他の代謝性医薬品で、後発医薬品の伸び代が大きい。



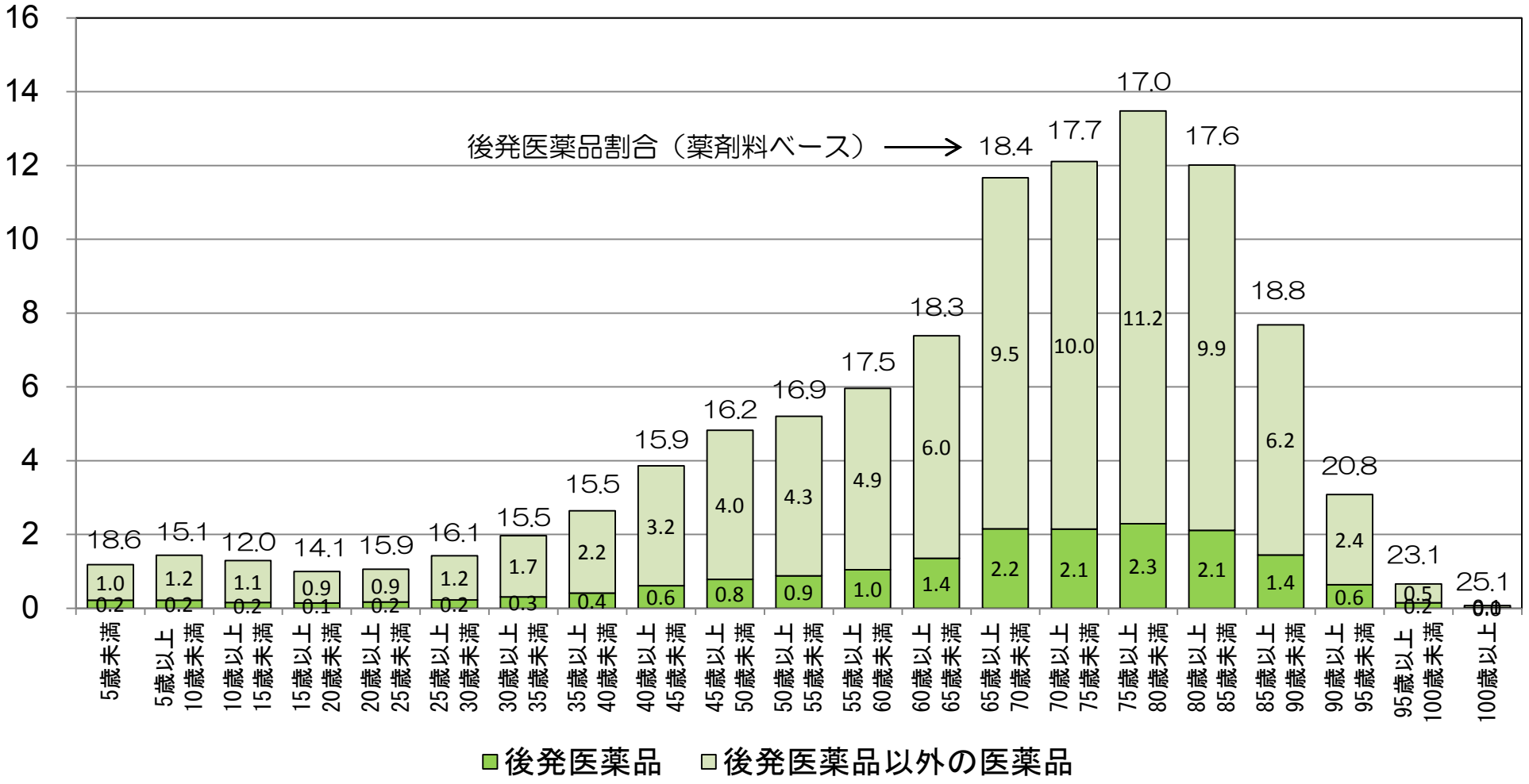
注1）　全薬剤料に対する薬効分類別のシェアを示したものであり、全国計を100（%）としたときの薬効分類別の薬剤料をそれぞれ棒グラフで表示している。

注2）「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

注3）「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

年齢階級別にみた薬剤料の構成比（2017年9月）

○　薬効分類別に薬剤料の構成比をみると、65歳以上90歳未満で、後発医薬品の伸び代が大きい。



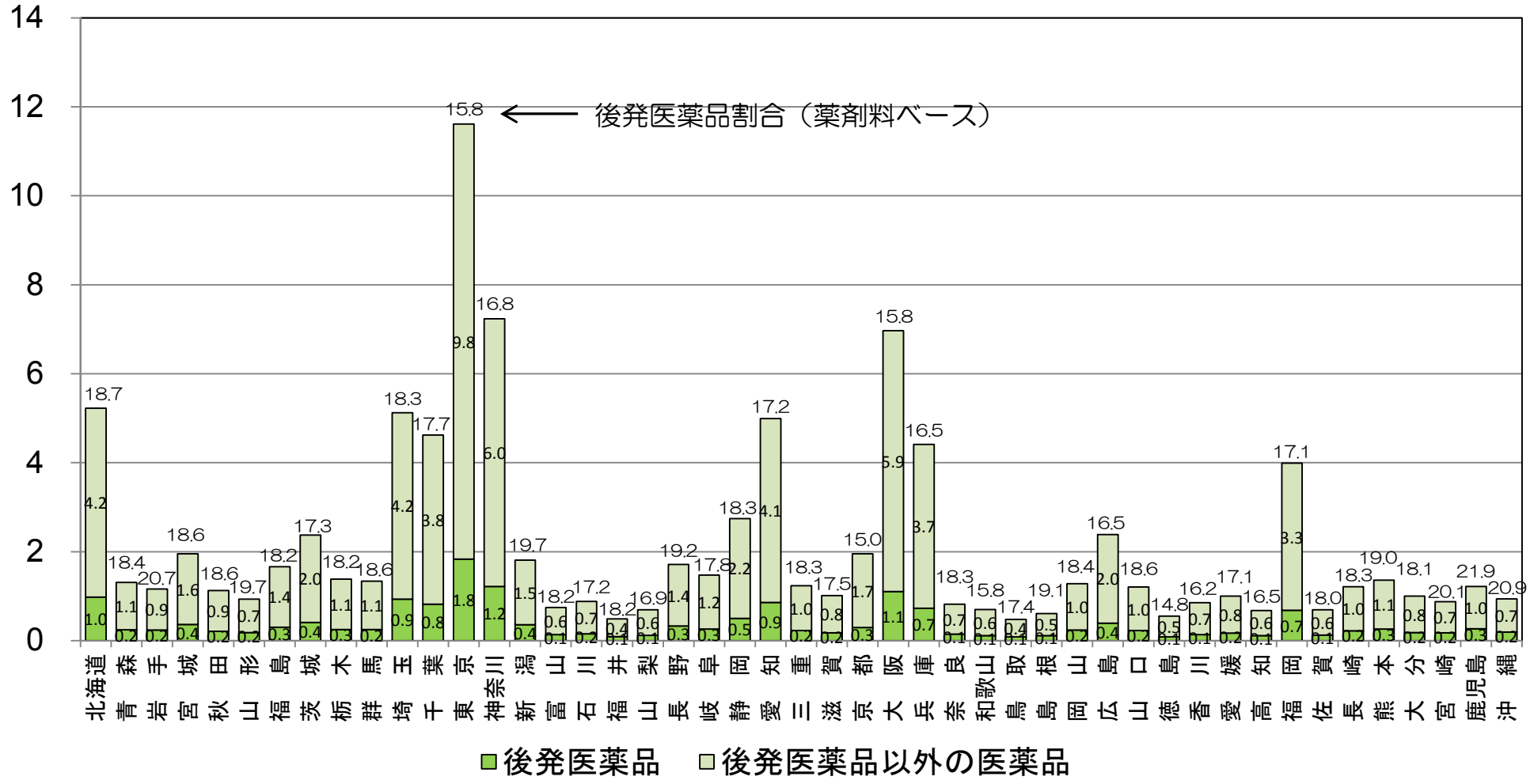
注1）　全薬剤料に対する年齢階級別のシェアを示したものであり、全国計を100（%）としたときの年齢階級別の薬剤料をそれぞれ棒グラフで表示している。

注2）「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

注3）「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

都道府県別にみた薬剤料の構成比（2017年9月）

○　都道府県別に薬剤料の構成比をみると、東京都、神奈川県、大阪府等で、後発医薬品の伸び代が大きい。



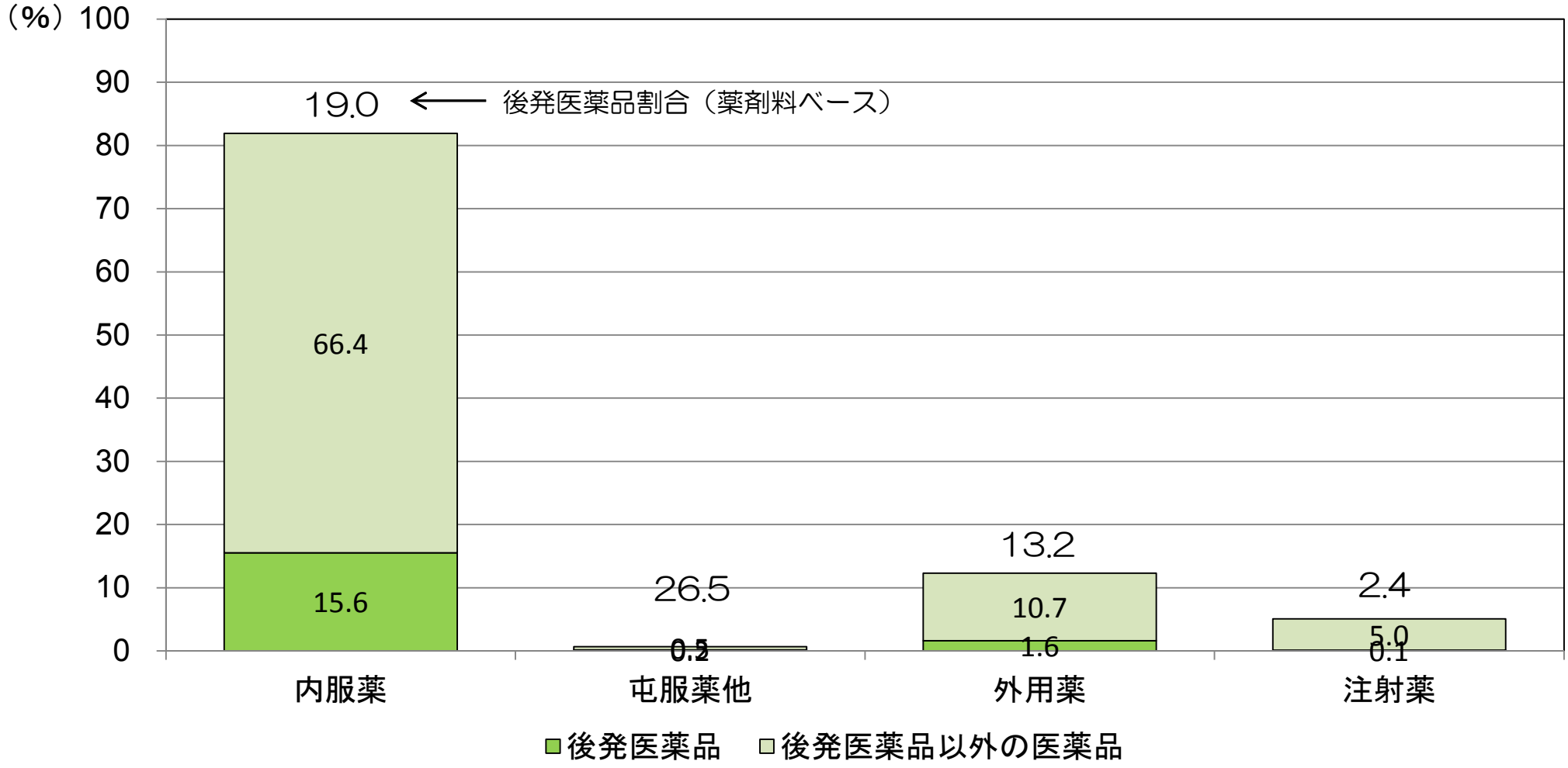
注1）　全薬剤料に対する都道府県別のシェアを示したものであり、全国計を100（%）としたときの都道府県別の薬剤料をそれぞれ棒グラフで表示している。

注2）「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

注3）「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

剤形別にみた薬剤料の構成比（2017年9月）

○ 剤形別に薬剤料の構成比をみると、内服薬で、後発医薬品の伸び代が大きい。

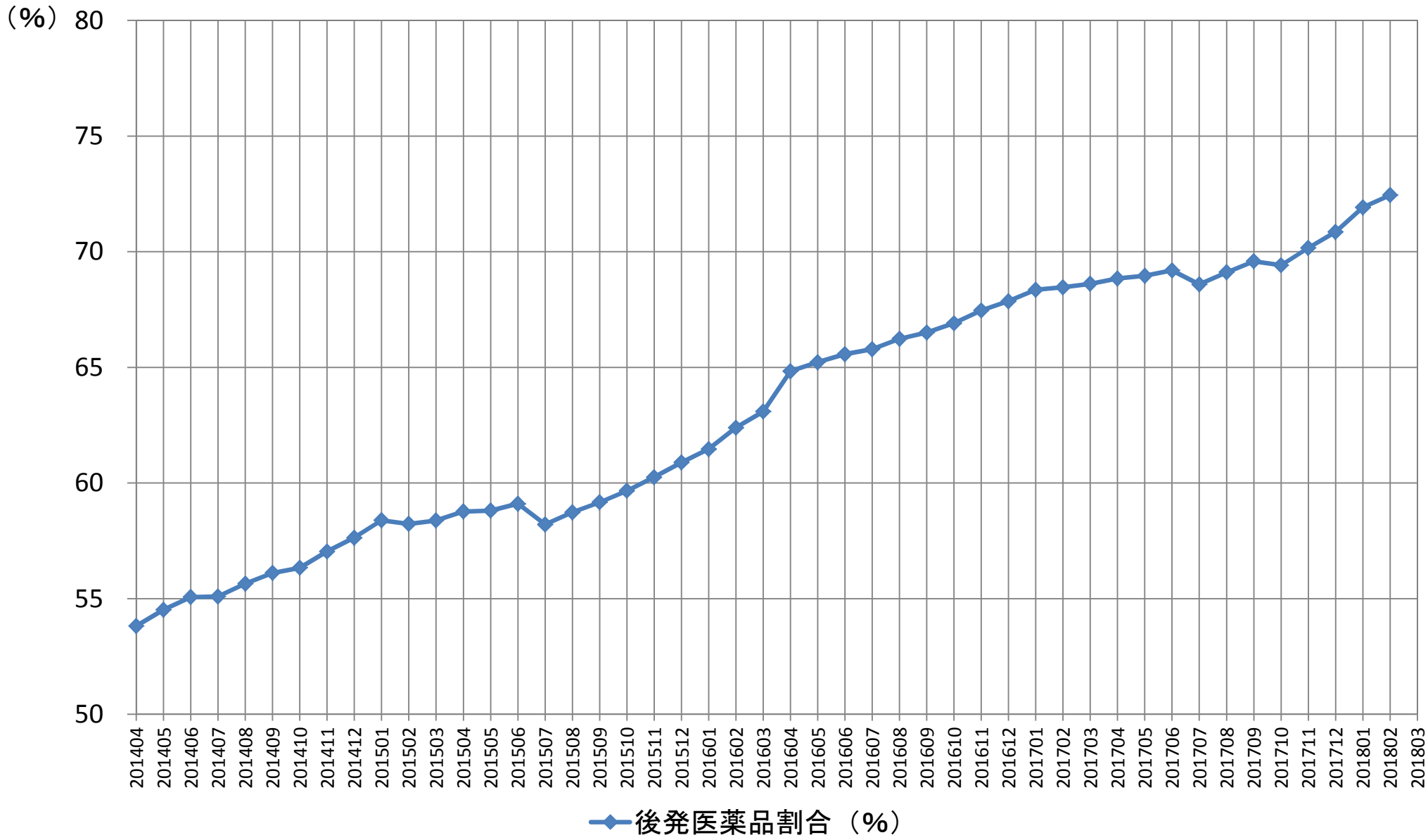


注1） 全薬剤料に対する剤型別のシェアを示したものであり、全国計を100（%）としたときの剤形別の薬剤料をそれぞれ棒グラフで表示している。

注2） 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

注3） 「後発医薬品割合（薬剤料ベース）」は〔後発医薬品の薬剤料〕／〔全薬剤料〕で算出している。

後発医薬品割合の推移（2014年４月～2018年２月）



注） 調剤レセプト（電算処理分）のデータのみ・数量ベース（新指標）

本分析に関する詳細データのURL：http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/database/zenpan/xls/cyouzai_doukou_topics_h30_07.xls

【詳細データの内容】

詳細表１　薬効分類別、年齢階級別　後発医薬品割合（数量ベース、新指標）
詳細表２　薬効分類別、年齢階級別　後発医薬品割合（薬剤料ベース）
詳細表３　薬効分類別、年齢階級別　薬剤料
詳細表４　薬効分類別、年齢階級別　後発医薬品薬剤料
詳細表５　薬効分類別、年齢階級別　薬剤料構成割合
詳細表６　薬効分類別、年齢階級別　規格単位数量構成割合
詳細表７　薬効分類別、年齢階級別　後発医薬品割合（数量ベース、新指標）
詳細表８　薬効分類別、年齢階級別　後発医薬品割合（薬剤料ベース）
詳細表９　薬効分類別、年齢階級別　薬剤料
詳細表10　薬効分類別、年齢階級別　後発医薬品薬剤料
詳細表11　薬効分類別、年齢階級別　薬剤料構成割合
詳細表12　薬効分類別、年齢階級別　規格単位数量構成割合
※詳細表１～12は、全剤形、内服、屯服他、外用毎に集計

詳細表13　薬効分類別、都道府県別　後発医薬品割合（数量ベース、新指標）
詳細表14　薬効分類別、都道府県別　後発医薬品割合（薬剤料ベース）
詳細表15　薬効分類別、都道府県別　薬剤料
詳細表16　薬効分類別、都道府県別　後発医薬品薬剤料
詳細表17　薬効分類別、都道府県別　薬剤料構成割合
詳細表18　薬効分類別、都道府県別　規格単位数量構成割合
詳細表19　薬効分類別、都道府県別　後発医薬品割合（数量ベース、新指標）
詳細表20　薬効分類別、都道府県別　後発医薬品割合（薬剤料ベース）
詳細表21　薬効分類別、都道府県別　薬剤料
詳細表22　薬効分類別、都道府県別　後発医薬品薬剤料
詳細表23　薬効分類別、都道府県別　薬剤料構成割合
詳細表24　薬効分類別、都道府県別　規格単位数量構成割合

詳細表25　年齢階級別、都道府県別　後発医薬品割合（数量ベース、新指標）
詳細表26　年齢階級別、都道府県別　後発医薬品割合（薬剤料ベース）
詳細表27　年齢階級別、都道府県別　薬剤料
詳細表28　年齢階級別、都道府県別　後発医薬品薬剤料
詳細表29　年齢階級別、都道府県別　薬剤料構成割合
詳細表30　年齢階級別、都道府県別　規格単位数量構成割合